

藤枝市立総合病院 4 階個室化改修工事

設計図

建築工事		電気設備工事		機械設備工事	
A－0	表紙・図面目録	E－1	電気設備工事特記仕様書（1）	M－1	機械設備工事特記仕様書（1）
A－1	建築工事改修特記仕様書（1）	E－2	電気設備工事特記仕様書（2）	M－2	機械設備工事特記仕様書（2）
A－2	建築工事改修特記仕様書（2）	E－3	電灯設備 平面詳細図（改修前・改修後）	M－3	衛生設備 平面詳細図（改修前・改修後）
A－3	建築工事改修特記仕様書（3）	E－4	コンセント設備 平面詳細図（改修前・改修後）	M－4	消火設備 平面詳細図（改修前・改修後）
A－4	建築工事改修特記仕様書（4）	E－5	テレビ共同受信設備 平面詳細図（改修前・改修後）	M－5	換気設備 平面詳細図（改修前・改修後）
A－5	建築工事改修特記仕様書（5）	E－6	ナースコール設備 4 階平面図（改修後）		
A－6	建築工事改修特記仕様書（6）	E－7	火災報知設備 平面詳細図（改修前・改修後）		
A－7	建築工事改修特記仕様書（7）				
A－8	案内図・配置図				
A－9	4 階平面図 個室化改修位置図				
A－10	内部仕上表、改修前・改修後平面詳細図、天井伏図				
A－11	断面詳細図、建具リスト、間仕切壁詳細図				
A－12	室内展開図、部分詳細図				

5章 建具改修工事

○ 1 改修工法

(5. 1. 3)

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・ アルミ製建具	・	・	・ 建具表による
・ 樹脂製建具		・	・ 建具表による
・ 鋼製建具	・ 外部	・	・ 建具表による
	・ 内部	・	・ 建具表による
○ 鋼製軽量建具		・	○ 建具表による ○ 病室出入口
・ ステンレス製建具		・	・ 建具表による
・ 木製建具		・	・ 建具表による

○ 新規に建具を設ける場合

壁部分の開口の開け方

※ 図示

・

新規建具周囲の補修工法及び範囲

※ 図示

・

建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章防水改修工事による

2 防火戸

(5. 1. 4)

指定する 適用箇所

(・ 建具表による)

○ 指定しない

防火戸の自動閉鎖機構及びヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動

・ 連動させる (・ 建具表による)

○ 連動させない

3 見本の製作等

(5. 1. 5)

・ 建具見本の製作 建具符号：

・ 建具見本の目的等

・ 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する

・ 納まり等が分かる程度のもの

・ 特殊な建具の仮組 建具符号：

4 防犯建物部品

(5. 1. 7)

・ 適用する (※ 建具表による)

・ 適用しない

5 アルミニウム製建具

(5. 2. 2～5) (表5. 2. 2)

性能値等

耐風圧性の等級 (・ S-4)

(建具符号)

気密性の等級 (・ A-3)

(建具符号)

水密性の等級 (・ W-4)

(建具符号)

外部に面する建具の種類別

・ A種 (建具符号)

・ B種 (建具符号)

・ C種 (建具符号)

・ 建具表による

・ 建具表による

・ 建具表による

枠の見込み寸法

(・ 建具表による)

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級 (・)

(建具符号)

・ 建具表による

断熱ドア・断熱サッシ[G]

断熱性の等級 (・)

(建具符号)

・ 建具表による

材料

ステンレス鋼板

※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※ HL

・

形状及び仕上げ

表面処理

外部に面する建具

種別

・ BB-1

・ 標準色

・ BB-2(改修標準仕様書表5. 2. 2)

・ 特注色

屋内の建具

種別

・ BC-1

・ 標準色

・ BC-2(改修標準仕様書表5. 2. 2)

・ 特注色

結露水の処理方法

・ 水貯め式

・ 排水式

工法

水切り板、ぜん板

※ 図示による

網戸等

(5. 2. 3) (5. 3. 3)

種類	材種	網径	網目
・ 防虫網	※ 合成樹脂製	※ 0. 25mm以上	※ 16～18ﾒｯｼｭ
	・ ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製		
	・ ステンレス (SUS316) 製		
・ 防鳥網	ｽﾃﾝﾚｽ (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法 15mm

6 樹脂製建具

(5. 2. 2) (5. 3. 2～5)

性能値等

耐風圧性の等級 ()

気密性の等級 ()

水密性の等級 ()

外部に面する建具の種類別

・ A種 (建具符号)

・ B種 (建具符号)

・ C種 (建具符号)

・ 建具表による

・ 建具表による

・ 建具表による

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級 (・ T-1)

(建具符号)

・ T-2

断熱ドア・断熱サッシ[G]

断熱性の等級 (・ H-4)

(建具符号)

・ H-5

・ H-6

・ H-7

・ H-8

外部に面する建具の日射熱取得性の等級

・

枠の見込み寸法

・ 建具表による

材料

ガラス

※ 複層ガラス

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※ HL

・

形状及び仕上げ

表面色

・ 標準色

・ 特注色

工法

水切り板、ぜん板

※ 図示による

7 鋼製建具

(5. 2. 2) (5. 4. 2～4) (表5. 4. 2)

性能値等

簡易気密型ドアレット

・ 適用する (建具符号)

・ 適用しない

外部に面する鋼製建具の耐風圧性

耐風圧性の等級 (・)

(建具符号)

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級 (・)

(建具符号)

断熱ドア・断熱サッシ[G]

断熱性の等級 (・)

(建具符号)

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料

ステンレス製のくつずりの仕上

※ HL

・

ステンレス鋼板

※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

形状及び仕上げ

鋼板の厚さ

※ 改修標準仕様書5. 4. 2による

mm

標準型钢製建具の形式及び寸法

※ 建具表による

○ 8 鋼製軽量建具

(5. 2. 2) (5. 5. 2～4)

性能値等

簡易気密型ドアレット

・ 適用する (建具符号)

・ 適用しない

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級 (・)

(建具符号)

断熱ドア・断熱サッシ[G]

断熱性の等級 (・)

(建具符号)

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

○ 材料

鋼板の種類

※ 亜鉛めっき鋼板

・ ｾﾐﾎﾙﾄﾞ被覆鋼板

・ ｸﾛｰ鋼板

・ ステンレス鋼板

ステンレス鋼板

※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

召合せ、縦小口包み板の材質

※ 鋼板

・

ステン製のくつずりの仕上げ

※ HL

・

○ 形状及び仕上げ

鋼板の厚さ (mm)

○ 改修標準仕様書表5. 5. 1による

mm

使用箇所 ()

○ 標準型钢製軽量建具の形式及び寸法

※ 建具表による

9 ステンレス製建具

(5. 2. 2) (5. 4. 2) (5. 6. 2～5)

性能値等

簡易気密型ドアレット

・ 適用する (適用箇所

・ 適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

耐風圧性の等級 (・)

(建具符号)

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級 (・)

(建具符号)

断熱ドア・断熱サッシ[G]

断熱性の等級 (・)

(建具符号)

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料

ステンレス鋼板

※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※ HL

・

形状及び仕上げ

表面仕上げ

※ HL

・ 鏡面仕上げ

工法

ステンレス鋼板の曲げ加工

※ 普通曲げ

・ 角出し曲げ

10 木製建具

(5. 7. 2～4)

建具材の加工、組立時の含水率

※ A種

・

建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量

※ F☆☆☆☆

・ フラッシュ戸

表面材のホルムアルデヒド放散量等

※ 改修標準仕様書5. 7. 2(2) (ｲ) による

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・ 普通合板[G]	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※ 広葉樹1等) (建具符号) 接合の程度 (・ 1種) ・ 2種	
・ 天然木化粧合板[G]	樹種名 () 接合の程度 (・ 1種) ・ 2種	
・ 特殊加工化粧合板[G]	化粧加工の方法 ※ プリント ・ ポリエステル化粧合板 ・ メラミン化粧合板 接合の程度 (・ 1種) ・ 2種	
・ MDF[G]		

表面板の厚さ

※ 改修標準仕様書表5. 7. 6による

・ 引戸の召合わせかまちのいんろう付きの適用

・ かまち戸

樹種 ()

鏡板樹種 ()

見込み寸法

※ 36mm

・ 建具表による

・ ふすま

張りの種別 (・ I形)

・ II型

上張り (押入等の裏側以外)

・ 鳥の子

・ 新鳥の子又はﾋﾞﾆｰﾙ紙程度

縁仕上

・ 塗り縁

・ 生地縁 (素地)

・ 生地縁 (ｸﾗｯｸｸﾗｰ塗装)

見込み寸法

※ 19. 5mm

・ 建具表による

・ 戸ぶすま

表面板の仕上

・ 建具表による

見込み寸法

※ 30mm

・ 建具表による

・ 紙張り障子

見込み寸法

※ 30mm

・ 建具表による

枠、くつずりの材料

・ 建具表による

○ 11 建具用金物

(5. 8. 2、 3)

金物の種類・見え掛り部の材質等

※ 改修標準仕様書表5. 8. 1による

金属製建具用丁番の枚数及び大きさ

※ 改修標準仕様書表5. 8. 2による

樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ

※ 改修標準仕様書表5. 8. 3による

木製建具に使用する戸車及びレール

※ 改修標準仕様書表5. 8. 4による

銅り玉、ﾄｰﾊﾟｰﾝﾄﾞﾙ、押板類、ｶﾚｰﾄﾞの取付位置

建具表による

銅り玉、ﾄｰﾊﾟｰﾝﾄﾞﾙ、押板類、ｶﾚｰﾄﾞの取付位置

建具表による

銅り玉、ﾄｰﾊﾟｰﾝﾄﾞﾙ、押板類、ｶﾚｰﾄﾞの取付位置

建具表による

○ 12 鍵

(5. 8. 4)

マスターキー

・ 製作する

※ 既存のマスターキーに合わせる

・ 製作しない

その他の鍵の製作本数

※ 3本組

・

鍵箱

・ 有

・ 無

13 自動ドア開閉装置

(5. 9. 2、 3)

戸の開閉方式

・ 建具表による

・ 引き戸用駆動装置

性能値

※ 改修標準仕様書表5. 9. 1による (・ 防錆の適用)

・ 以下による

種類・開閉方式 ()

耐電圧 ()

温度上昇 ()

耐久性(ｸﾗｲﾌ) ()

防錆 ()

電源 ()

・ 多機能ﾄﾞｲﾚ出力引き戸用駆動装置

性能値

※ 改修標準仕様書表5. 9. 2による (・ 防錆の適用)

・ 以下による

耐電圧 ()

温度上昇 ()

耐久性(ｸﾗｲﾌ) ()

防錆 ()

電源 ()

・ 引き戸用検出装置

性能値

※ 改修標準仕様書表5. 9. 3による (・ 防錆の適用)

・ 以下による

耐電圧 ()

温度上昇 ()

防錆 ()

電源 ()

引き戸用検出装置の種類

・ 建具表による

タッチスイッチの種類

・ 無線式タッチスイッチ

・ 光線式タッチスイッチ

車椅子使用者用便所スイッチの種類

・ 大形押しボタンスイッチ

・ 非接触スイッチ

凍結防止措置

・ 行う

・ 行わない

14 自閉式上吊り引戸装置

(5. 10. 3)

性能値等

※ 改修標準仕様書表 5. 10. 1 による

・ 以下による ()

・ 自動開き力 ()

・ 自動閉じ力 ()

・ 閉じ速度の調整 ()

・ 制動区間 ()

・ 開閉繰返し ()

・ 耐衝撃性 ()

15 重量シャッター

(5. 11. 2、 3)

シャッターの種類

・ 管理用シャッター

・ 外壁用防火シャッター

・ 屋内用防火シャッター

・ 防煙シャッター

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa

開閉方式の種類

※ 上部電動式(手動併用)

・ 手動式

安全装置

電動シャッターの急降下停止装置、急降下制動装置 (設置箇所)

・ 建具表による

電動シャッターの障害物感知装置

※ 設ける (設置箇所)

・ 建具表による

・ 設けない (設置箇所)

・ 建具表による

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構

※ 設ける (設置箇所)

・ 建具表による

・ 設けない (設置箇所)

・ 建具表による

管理用シャッターのシャッターケース

・ 設ける

・ 設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板

鋼板の種類

・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)

・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)

めっきの付着量

※ Z12またはF12

・

ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるｽｲﾁﾞﾞｯｸﾞｽ類のふたの材質

ステンレス鋼板

※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

16 軽量シャッター

(5. 12. 2～4)

開閉方式の種類

※ 手動式

・ 電動式(手動併用)

耐風圧強度() Pa

安全装置

電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所)

・ 建具表による

スラットの材質の種類

・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)

めっきの付着量 (※ Z06またはF06)

・ JIS G 3322(塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)

めっきの付着量 (※ AZ90)

スラットの形状

・ ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形

・ ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾌﾟｲﾝｸﾞ形

17 オーバーヘッドドア

(5. 13. 2、 3)

オーバーヘッド材料による区分	耐風圧性能の区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙの材料
※ ｽﾃｰﾙﾍﾞｰﾄﾞ ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾍﾞｰﾄﾞ ・ ｳｪﾙﾄﾞﾍﾞｰﾄﾞ	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※ ｾﾞｰﾌﾞﾗｽ式 ・ ｹｰﾌﾞﾙ式 ・ 電動式	・ ｽﾃｰﾌﾟﾍﾞｰﾄﾞ形 ・ ｹｰﾌﾞﾙ形 ・ ｹｰﾌﾞﾙ形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板

障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所

・ 図示

・

○ 18 ガラス

(5. 14. 2～4)

・ ｸﾛｰﾄﾞ板ｸﾞﾗｽの品種及び厚さの呼びによる種類

※ 建具表による

・ 型板ｸﾞﾗｽの厚さによる種類

※ 建具表による

・ 網入板ｸﾞﾗｽ及び網入板ｸﾞﾗｽの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類

※ 建具表による

・ 合わせｸﾞﾗｽ

材料板ｸﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びにｸﾞﾗｽの合計厚さによる種類

※ 建具表による

・ 落球衝撃はく離特性並びにｼｵｯﾄﾊﾞｯｸ衝撃特性による種類

・ I類

・ II-1類

・ II-2類

・ III類

○ 強化ｸﾞﾗｽ

形状による種類、材料板ｸﾞﾗｽの種類による名称

※ 建具表による

・ 破片の状態及びｼｵｯﾄﾊﾞｯｸ衝撃特性による種類

・ I類

・ II類

・ 熱線吸収板ｸﾞﾗｽ

板ｸﾞﾗｽによる種類、厚さによる種類

※ 建具表による

性能による種類

・ I類

・ II類

・ III類

・ 複層ｸﾞﾗｽ

材料板ｸﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びに複層ｸﾞﾗｽの厚さ

※ 建具表による

断熱性による区分

・ T1

・ T2

・ T3

・ T4

・ T5

・ T6

日射取得性、日射遮蔽性による区分

・ G

・ S

乾燥気体の種類

・ 空気

・ ｱﾙｺｰﾙ

・ 熱線反射ｸﾞﾗｽ

材料板ｸﾞﾗｽの種類及び厚さによる種類

※ 建具表による

日射遮蔽性による区分

・ 1種

・ 2種

・ 3種

耐久性による区分 (日射遮蔽性による区分が2種の場合)

・ A類

・ B類

・ 倍強化ｸﾞﾗｽ

材料板ｸﾞﾗｽの種類及び厚さによる種類

※ 建具表による

○ ｸﾞﾗｽの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ｸﾞﾗｽ留め材	ｸﾞﾗｽ溝の大きさ(mm)
ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	・ シーリング材 ・ ｸﾞﾚｲﾝｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	○ シーリング材 ・	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による
ｽﾃﾝﾚｽ製	・ シーリング材	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による
樹脂製	・ ｸﾞﾚｲﾝｼﾞﾝｸﾞｶﾞｽﾀｯﾄ	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による

19 ガラスブロック

(5. 14. 5)

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・ 160×160	・ 95				
・ 200×200	・ 95				

壁用金属枠及び補強材

※ 図示

力骨 材質

※ ステンレス鋼(SUS304)

寸法

※ 5. 5mm

形状

※ はしご形状複筋及び単筋

化粧目地ﾎﾙﾄﾞﾍﾞｰﾄﾞの色 (・ 白)

・ グレー

シーリングの種類

・ SR-1

・ PS-1

金属製化粧ｶﾊﾞｰ

材質

・ ステンレス製

・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製

寸法

※ 図示

形状

※ 図示

目地部の横力骨の納まり

※ ｸﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ製造所の仕様による

・ 図示

工法

適用区分による風圧力の (※ 1)

・ 1. 15

・ 1. 3

倍の風圧力に対応した工法

20 ガラス用フィルム

種類	記号	性能等
呼び寸法(mm)	内貼り用	外貼り用
・ 日射調整ﾌｨﾙﾑ[G]	・ SC-1	・ SC-2
・ 低放射ﾌｨﾙﾑ	・ LE	
・ 衝撃破壊対応ｸﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	・ GI-1	・ GI-2
・ 相関変位破壊対応ｸﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	・ GD-1	・ GD-1
・ ｸﾞﾗｽ貫通防止ﾌｨﾙﾑ	・ SF	

品質

JIS A 5759による。

藤枝市立総合病院 事務部 病院総務課

株式会社大瀧建築事務所

管理建築士 増田 洋一

一級建築士登録 第276882号

棟司

江間

作図

西村

日付

令和8年7月

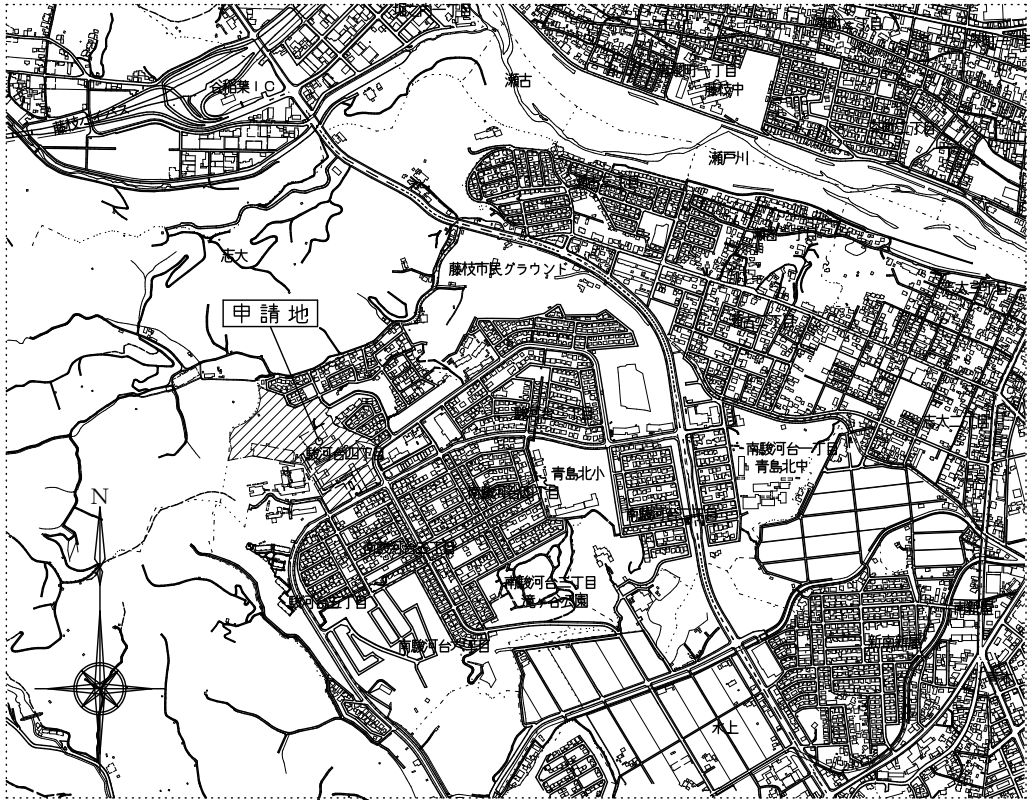
工事名

藤枝市立総合病院4階個室化改修工事

建築工事改修特記仕様書 (4)

図章

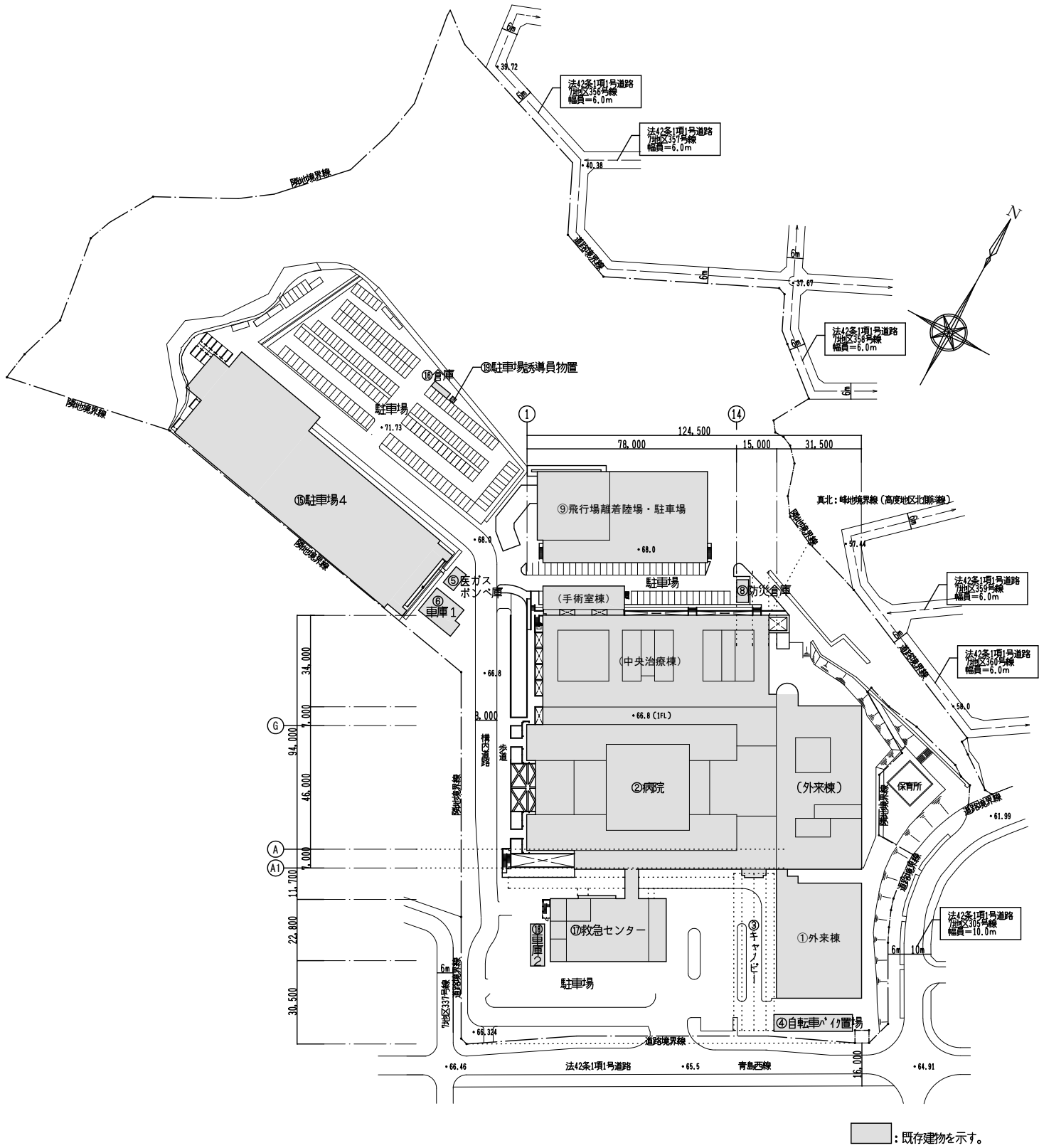
A-4



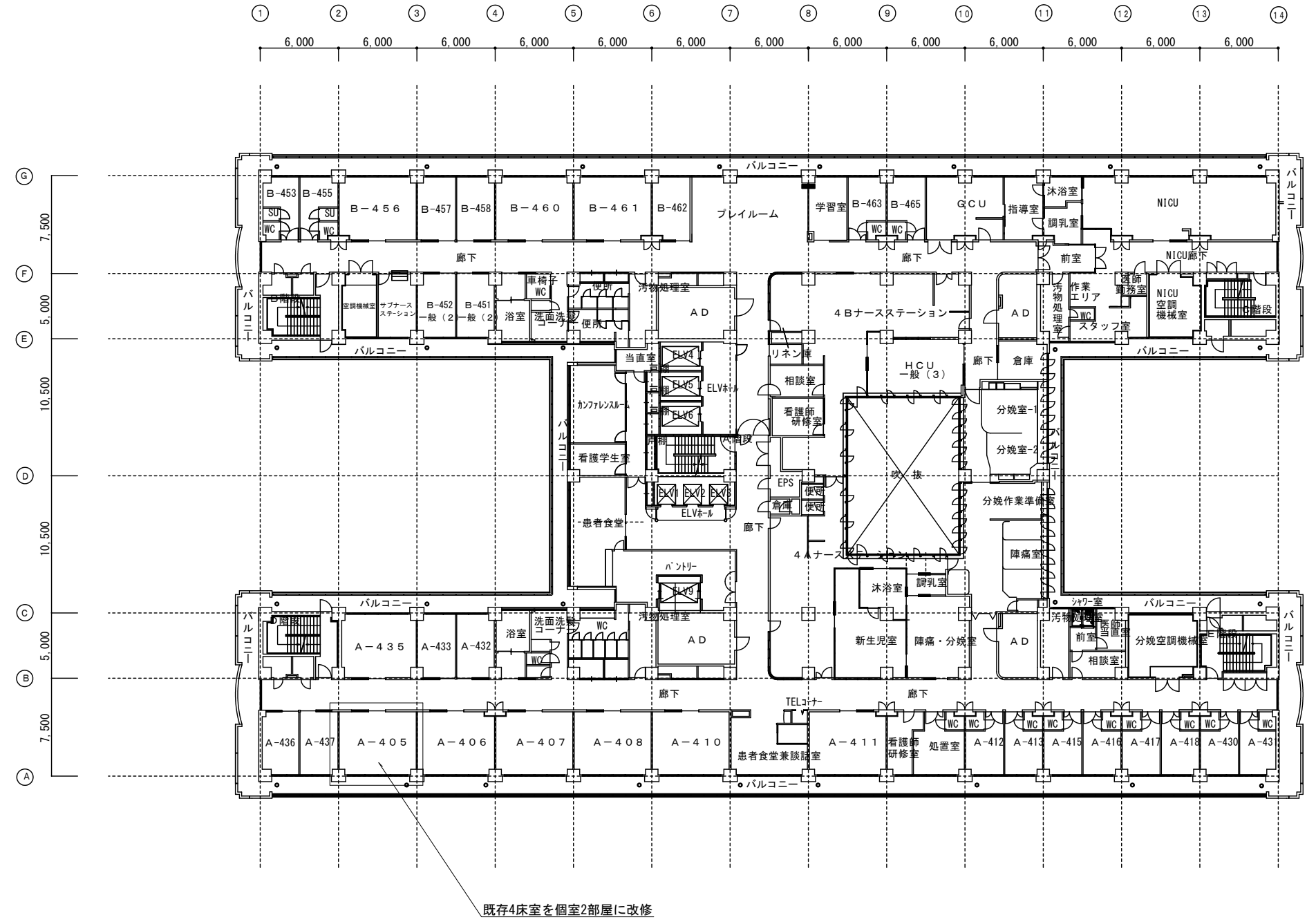
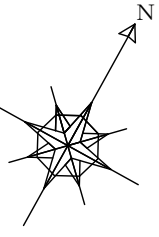
案内図

一 般 事 項	建物名称	藤枝市立総合病院
	所在地	静岡県藤枝市駿河台4-1-11
	建築主	藤枝市立総合病院
	用途	病院
	用途地域	第一種中高層住居専用地域
	防火地域	指定なし 22条地域
	その他の 地域地区	高度地区
	建ぺい率	60 %
	容積率	150 %
	敷地面積	63,155.43㎡

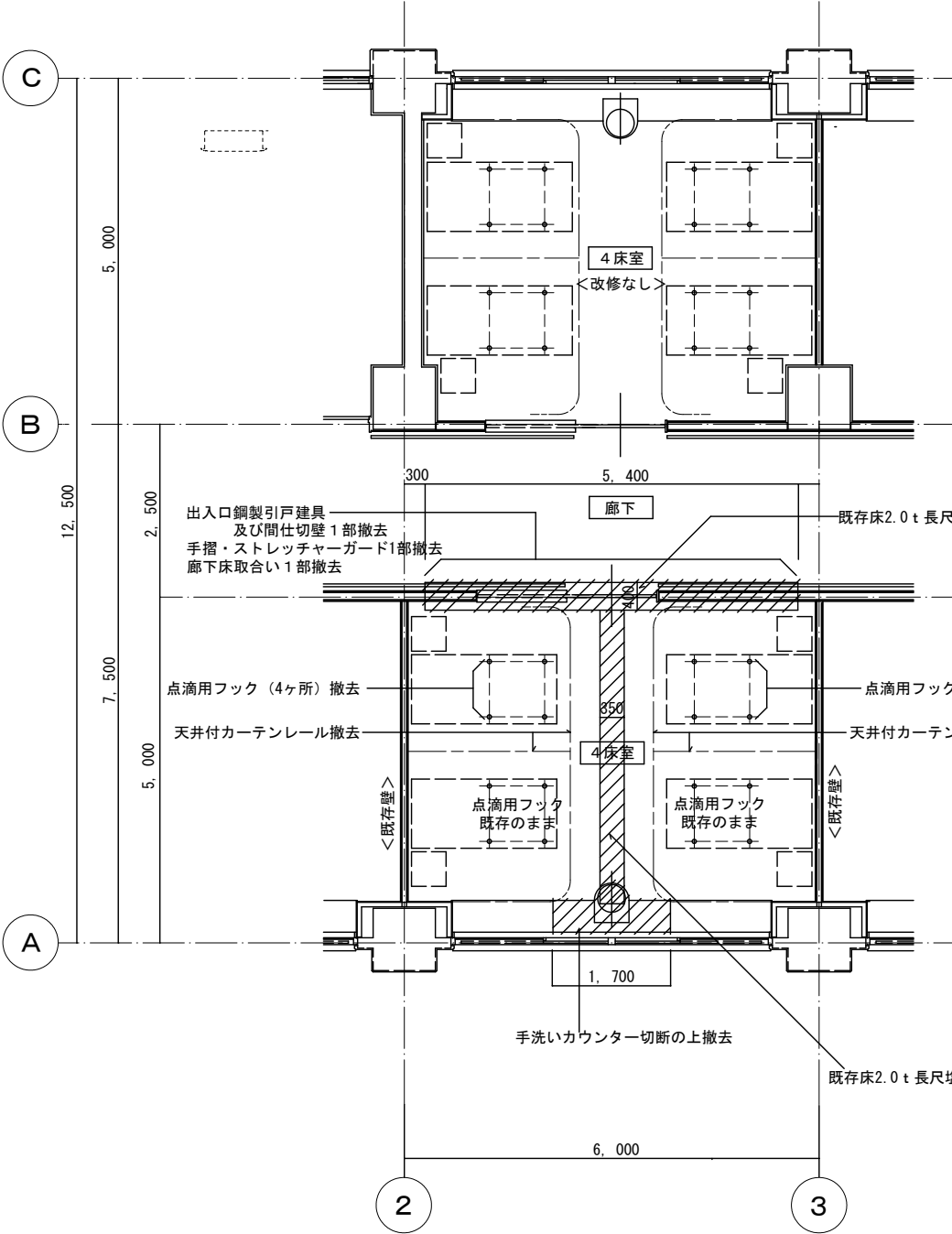
棟別面積表					
建物 No	建物名称	構造・規模	建築面積 (㎡)	床面積 (㎡)	備考
①	外来棟	RC 地上3階	1,372.36	2,932.19	
②	病院	SRC、RC 地下1階地上8PH1 S 地上2階	9,273.65	42,143.03	
	病院(増築部)		302.27	601.67	
	小 計		9,575.92	42,744.70	①と同一棟
③	キャノピー	S 地上1階	1,084.03	—	
④	自転車 バイク置場	S 地上1階	136.02	136.02	
⑤	医ガスボンベ庫	RC及びS 地上1階	18.00	18.00	
⑥	車庫1	S 地上2階	169.53	248.30	
⑧	防災倉庫	S 地上1階	35.69	35.69	
⑨	飛行場離着陸場 ・駐車場	S 地上2階	2,134.68	2,449.88	
⑫	駐車場4	S 地上2階	3,652.05	7,004.76	
⑬	倉庫	S 地上1階	16.74	16.74	
⑮	救急センター	S 地上3階	1,114.16	2,280.17	②と同一棟
⑯	車庫2	S 地上1階	70.00	70.00	
⑰	駐車場誘導員 物置(増築)	S 地上1階	3.34	3.34	
合計			19,382.52	57,939.79	
注記	7、10、11、12、13、14は欠番。				



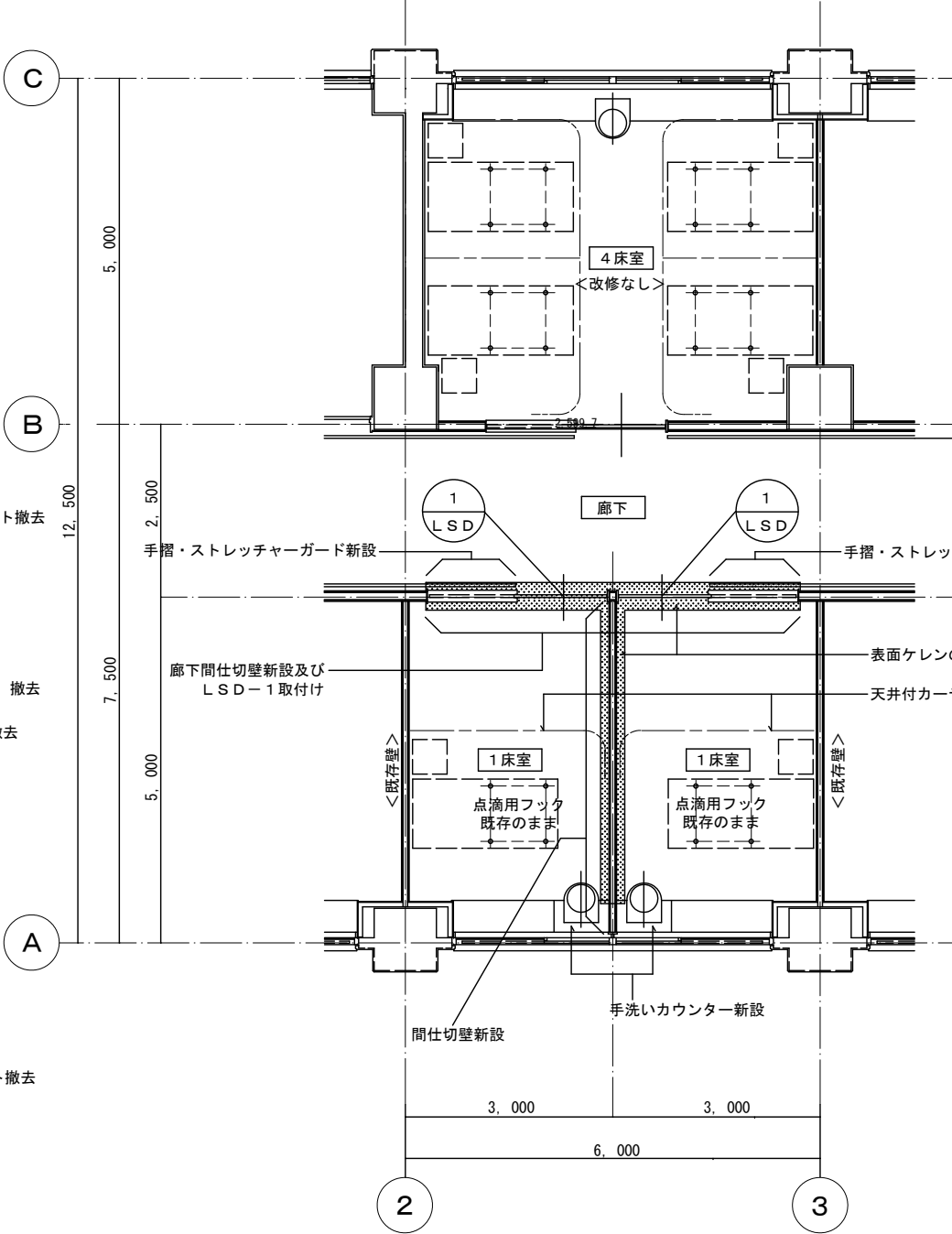
配置図(全体)
S=1:1000(A1), S=1:2000(A3)



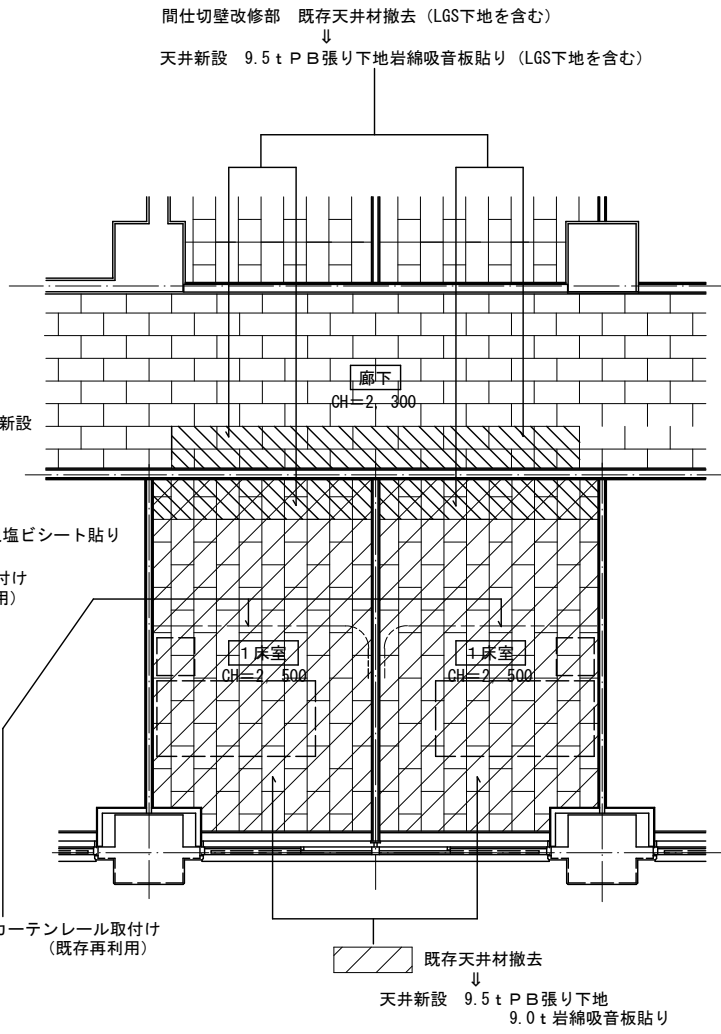
内部仕上表												
改修	室名	床		巾木		壁		天井		廻り縁	天井高	備考
		下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上			
改修前	4 床室	RC	2.0 t 長尺塩ビシート貼り 1 部撤去処分（平面図参照）	ソフト巾木 1 部撤去処分	60	LGS	廊下側：15.0 t +15.0 t 強化PB張りの上VC貼り 間仕切壁：12.5 t PB+9.5 t PB張りの上VC貼り RC下地壁：12.5 t PB張り（GL工法）の上VC貼り 壁：12.5 t PB張り（GL工法）の上AEP VC貼り 1 部撤去	LGS	9.0 t PB張り下地9.0 t 岩綿吸音板貼り 既存天井材撤去（LGS下地は残す） 廊下側間仕切壁新設部 既存天井材撤去（LGS下地を含む）	塩ビ製 同左取合部 撤去	2, 500	窓側手洗いカウンター、カーテンレール、点滴フック（4か所） （1 部撤去）（撤去及び再利用）（1 部撤去） 窓側柱型：LGS下地12.0 t PB張りの上VC貼り 廊下側柱型（C通りのみ）：RC下地12.0 t PB張り（GL工法）の上VC貼り
	廊下	RC	出入口建具、間仕切壁撤去取合い部 2.0 t 長尺塩ビシート貼り 撤去処分	ソフト巾木 1 部撤去処分	60	LGS RC	12.5 t +12.5 t PB張りの上AEP 柱型：12.5 t PB張り（GL工法）の上AEP 1 部撤去 （平面・断面図参照）	LGS	9.0 t PB張り下地9.0 t 岩綿吸音板貼り 出入口建具、間仕切壁撤去取合い部撤去（天井伏図参照）	塩ビ製 同左取合部 撤去	2, 300	手摺、ストレッチャーガード — 間仕切壁撤去部の該当撤去
改修後	1 床室	RC	出入口建具、間仕切壁撤去取合い部 表面ケレンの上2.0 t 長尺塩ビシート貼り	ソフト巾木	60	LGS RC	既存PB張り部VC貼り	LGS（既存）	新設9.5 t PB張り下地9.0 t 岩綿吸音板貼り（天井伏図参照）	塩ビ製	2, 500	手洗いカウンター新設、カーテンレール1 部再利用、点滴フック（既存）
	廊下	RC	出入口建具、間仕切壁撤去取合い部 表面ケレンの上2.0 t 長尺塩ビシート貼り	同左部 ソフト巾木	60	LGS	出入口建具、間仕切壁撤去取合い部 新設壁：LGS下地15.0 t PB+15.0強化PB張りの上AEP	LGS（既存） 1 部新設	出入口建具、間仕切壁撤去取合い部 新設9.5 t PB張り下地9.0 t 岩綿吸音板貼り（天井伏図参照）	塩ビ製	2, 300	手摺、ストレッチャーガード — 間仕切壁新設部の該当新設



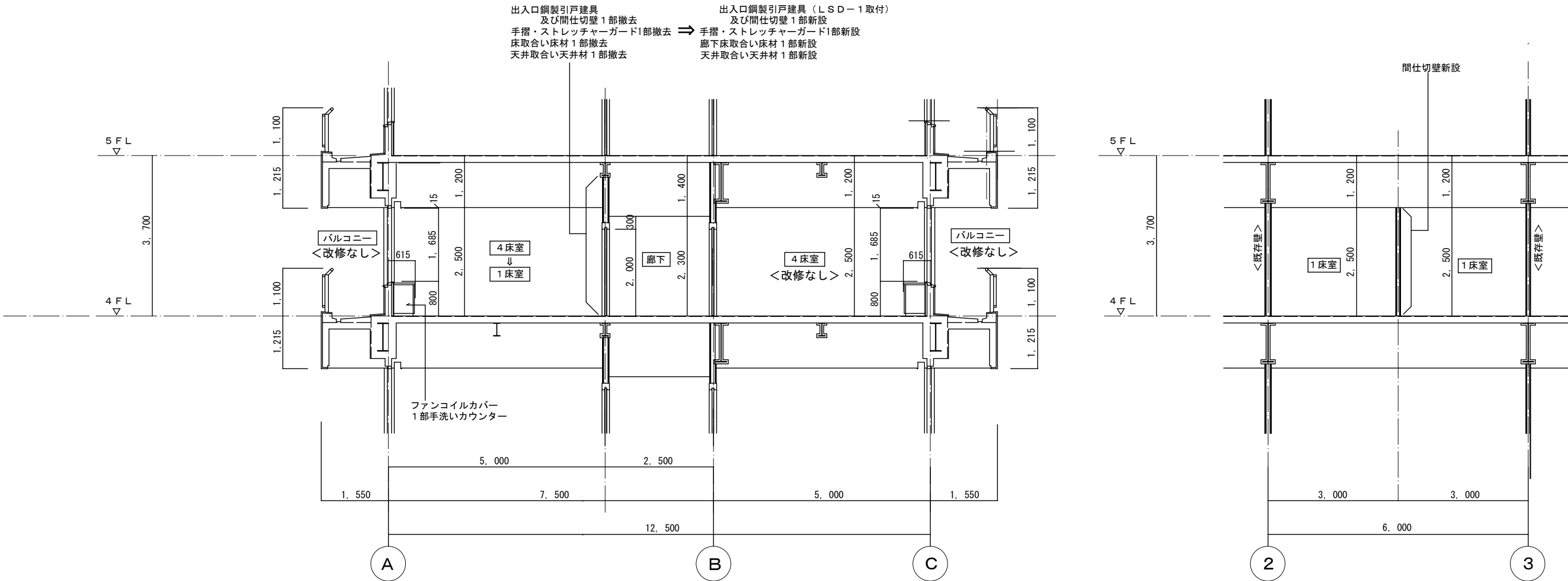
改修前平面詳細図 S= 1 / 50



改修後平面詳細図 S= 1 / 50

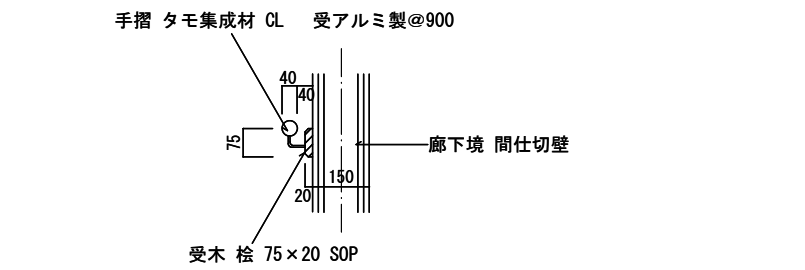
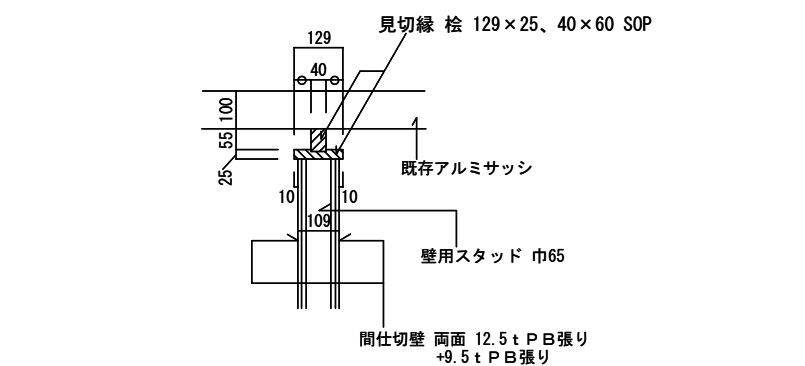
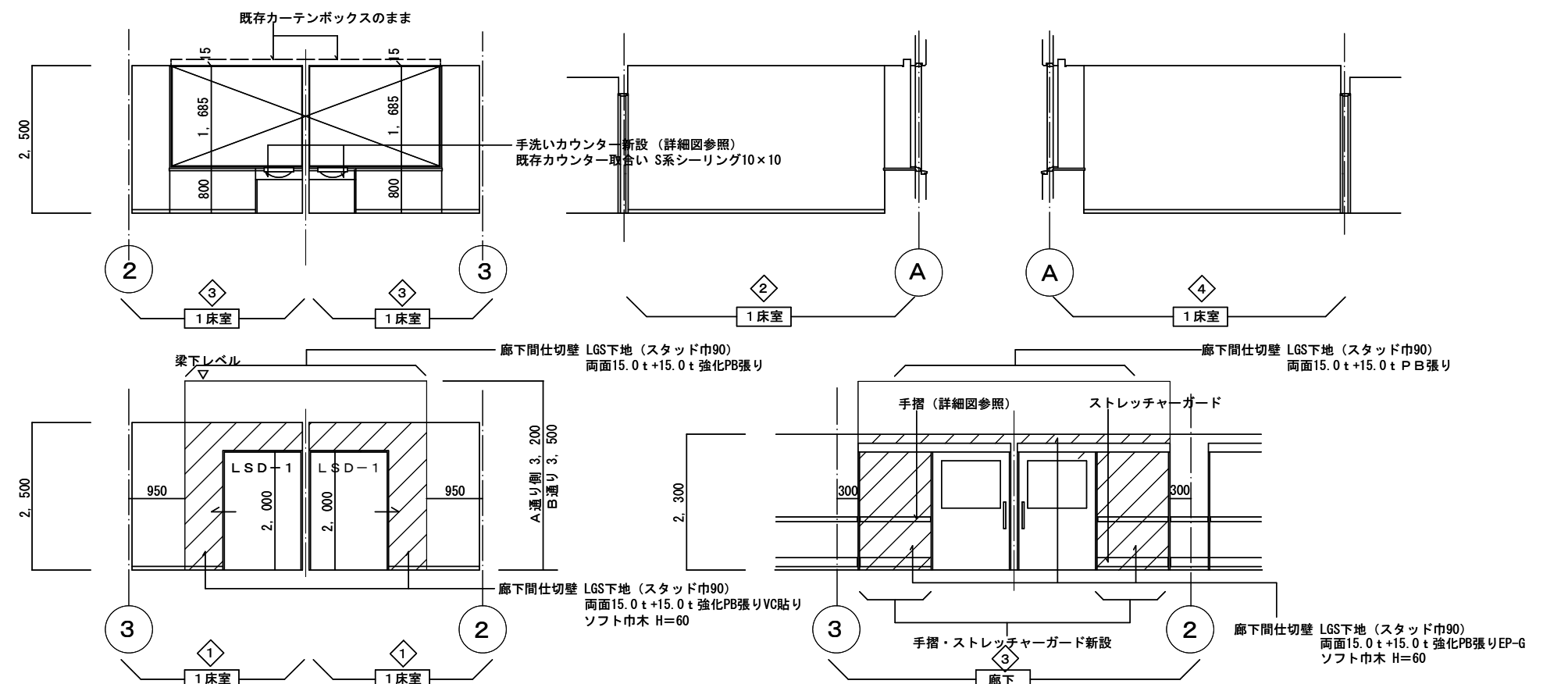
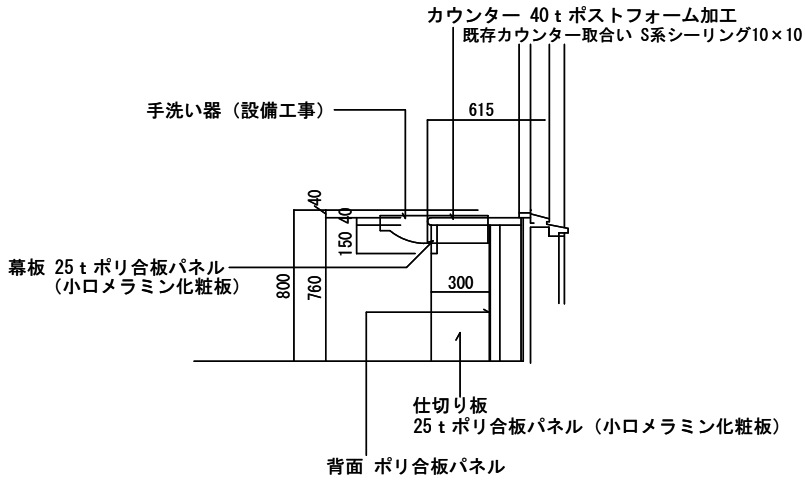
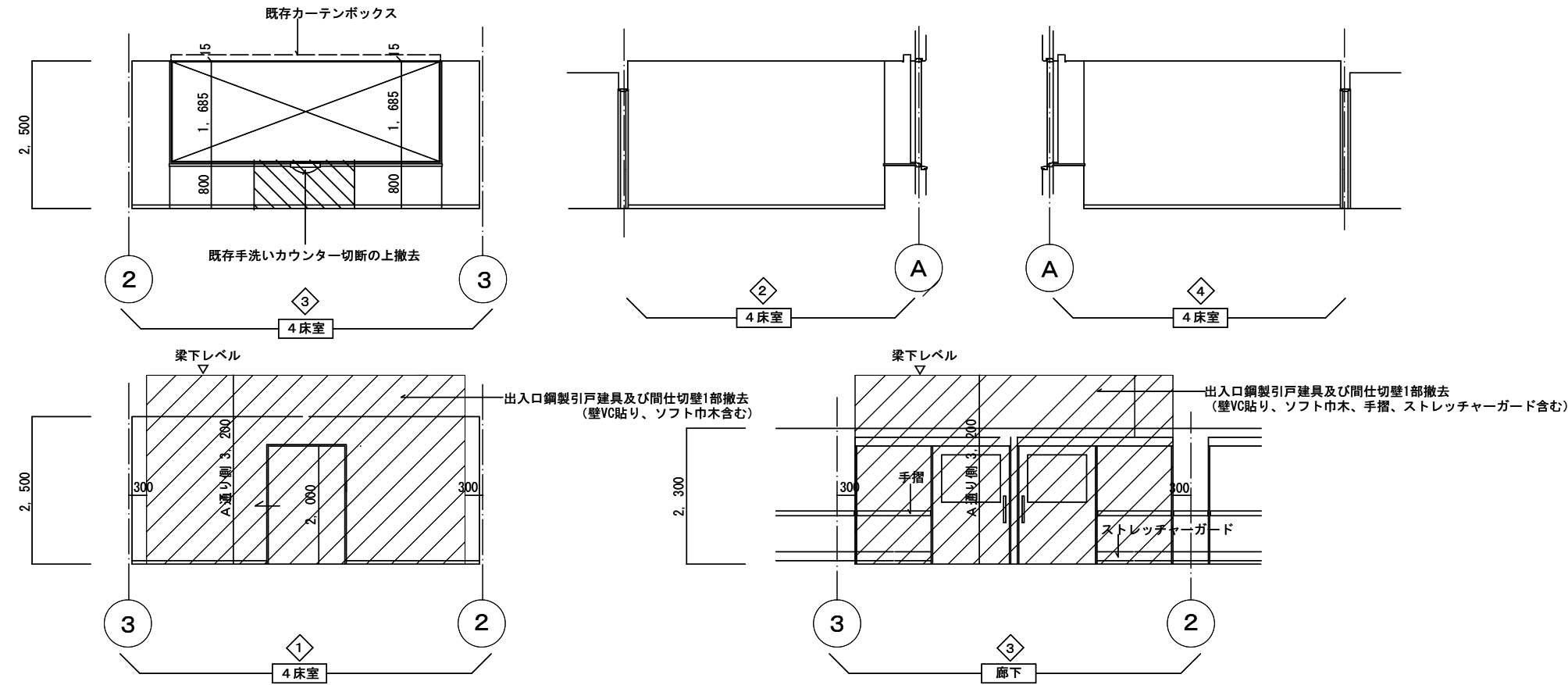


改修後天井伏図 S= 1 / 50

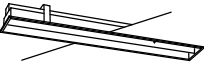


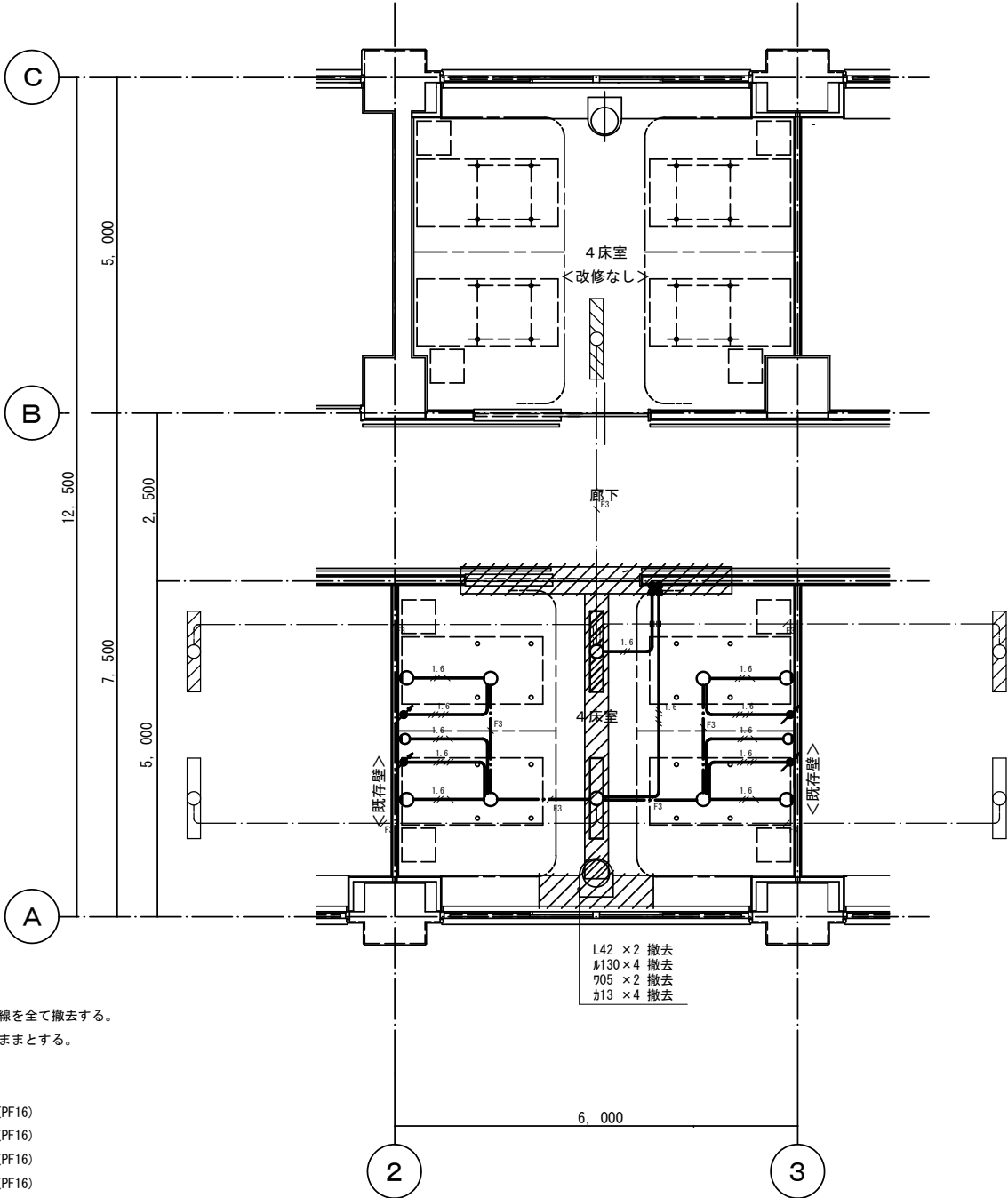
改修断面詳細図 S= 1 / 50

建具リスト		間仕切壁詳細図		
符号・個数	LSD-1 2箇所			
使用場所	1床室に改修出入口(4A)			
形状	戸袋部両面15.0t強化PB 2枚張り AEP	両面 15.0t+15.0t強化PB張り <耐火構造 認定FP060NP-0483> 病室～廊下間詳細図	両面 12.5tPB張り +9.5tPB張り <耐火構造 認定FP060NP-0473-1> 病室～病室間詳細図	片面 12.5tPB張り 病室～PS間詳細図
型式	スチール製軽量ハンガー引き戸 枠見込172			
金物	標準付属金物一式 引き棒：ステンレス製木目調 錠：シリンダー・内部サムターン			
ガラス	4t強化ガラス（ガラスシール：両面S系シーリング）			
備考	戸袋ボード納まり（ボードは内装工事） 3方枠：1.6t鋼板焼付塗装			

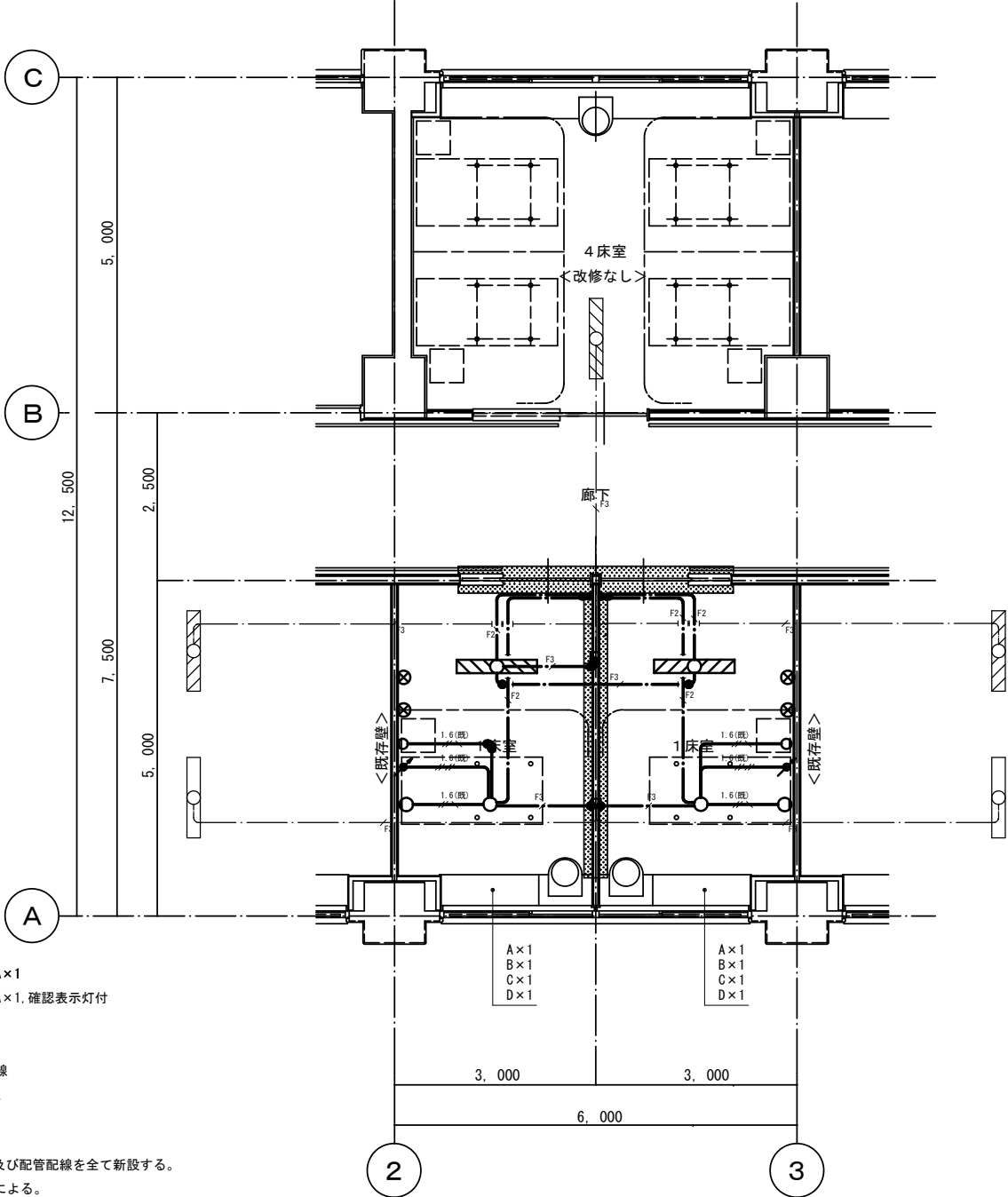


※ 手摺：詳細図参照、ストレッチャーガード：ナカ工業セフティーラインNW同等品

A	LDL40 (2600lmφ7") × 2 埋込型LED照明器具	B	ユニバーサルライト設置灯	C	LEDペンダントライト	D	LEDペンダントライト 5形小丸電球1灯器具相当
 適合ランプ：直管LEDランプ (2600lmφ7") × 2本 電圧100～242V ランプ素材：ガラス管、Ra:84 本体：亜鉛鋼板 (白色)、反射板：銅板 (高反射白色粉体塗装) 光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 埋込穴160 × 122φ 埋込高129 パナソニック NNF42772JL19相当品		 LED内蔵、4000K、Ra85 器具光束：1370lm、消費電力：12.2W、電圧：100-242V 配光：長円タイプ、光源寿命40000時間 (光束維持率85%) 枠：銅板 (φ44φ1つや消し仕上) 反射板 (上部)：アクリル (約1t) カバー：ガラス (透明) 音響範囲25度、水平回転範囲約355度、埋込穴φ125 パナソニック ユニバーサルライトXLH1550WLJ9相当品		 昼白色、5000K、Ra73 壁付用 セード：樹脂 (φ44φ1t) アーム：アルミダイカスト シャワー型遮光タイプ 読書専用 アクリル付 パナソニック NNF23107JLE1相当品		 電球色 (2800K)、Ra74 器具光束3.8lm、消費電力0.9W、電圧100V 熱線・明るさセンサー付 コネクタ付、はさみ器具取付 カバー：ポリカーボネイト (乳白)、(約1t) 埋込穴105 × 100 パナソニック LGB670068相当品	



改修前平面詳細図 S= 1 / 50



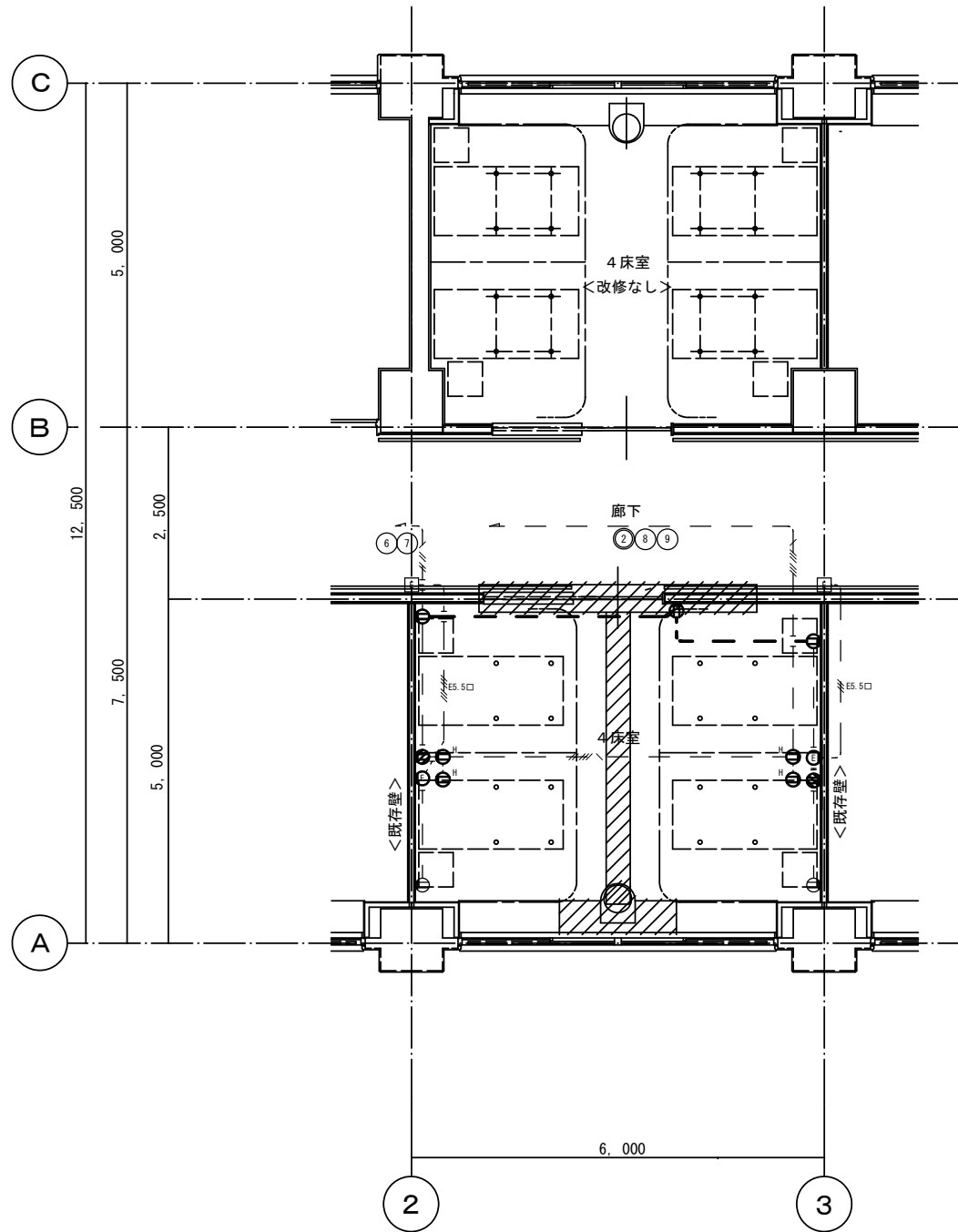
改修後平面詳細図 S= 1 / 50

凡 例

- ① 埋込コンセント 2P15A×2, 接地極付
- ①H 埋込医用コンセント 2P15A×2, 接地極付
- ② 埋込コンセント 2P15A×2, 接地極付(発電機回路)
- ③ 医用接地端子
- 天井内ケーブル配線
- 床隠ぺい配管配線

注 記

- 図中の太線で示す機器類及び配管配線を全て撤去する。
ただし、コンクリート打込み配管は既設のままとする。
- 特記なき配管配線は下記による。
— IV2.0×2+E2.0 (PF16)



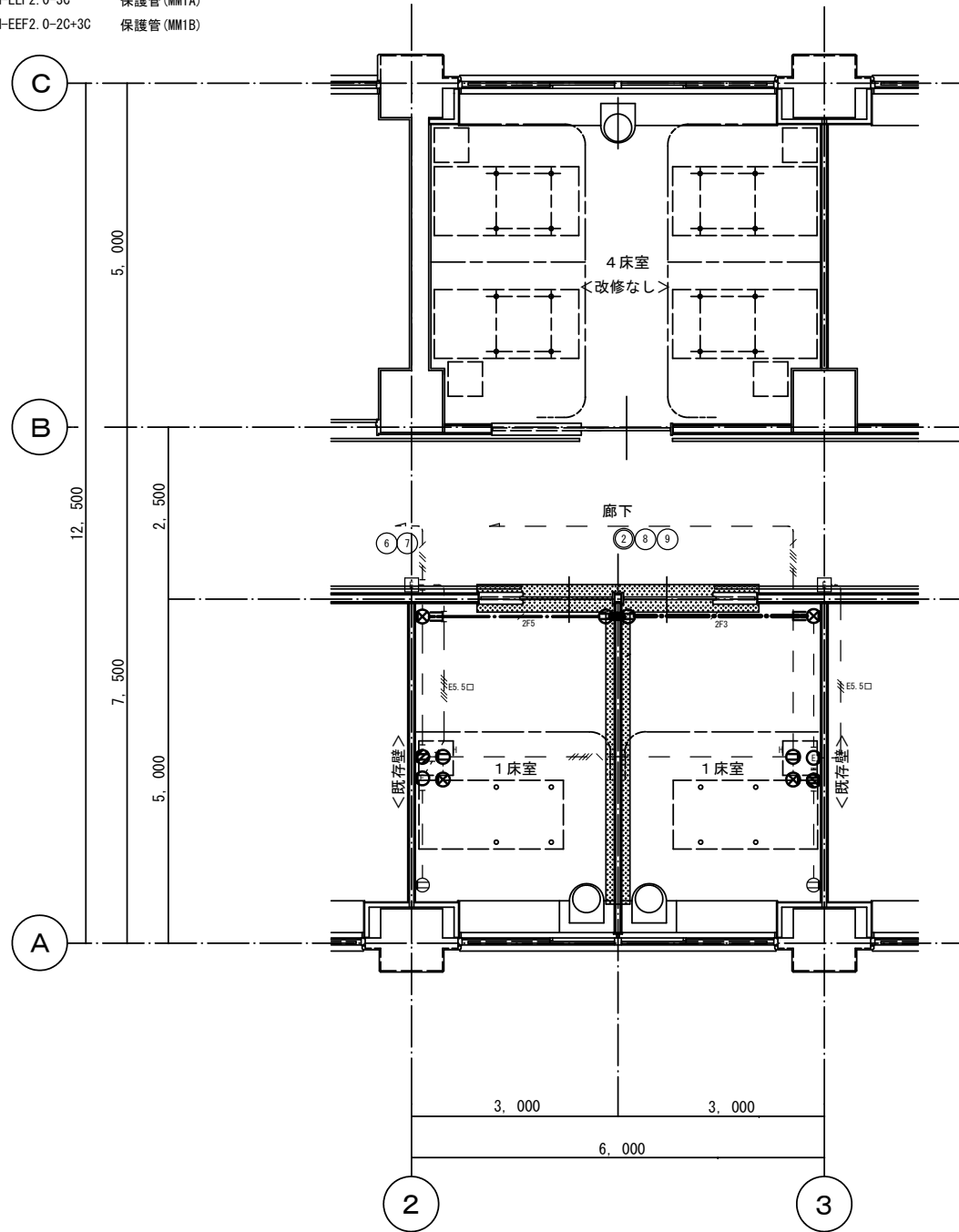
改修前平面詳細図 S= 1 / 50

凡 例

- ① 埋込コンセント 2P15A×2, 接地極付
- ①H 埋込医用コンセント 2P15A×2, 接地極付
- ② 埋込コンセント 2P15A×2, 接地極付(発電機回路)
- ③ 医用接地端子
- ⊗ グラングレート
- 天井内ケーブル配線
- 床隠ぺい配管配線

注 記

- 図中の太線で示す機器類及び配管配線を全て新設する。
- 特記なき配管配線は下記による。
ケーブル配線における壁立上げ部分は配管保護すること。
--- 2F3 EM-EEF2.0-3C 保護管(PF22)
--- 2F5 EM-EEF2.0-2C+3C 保護管(PF22)
--- 2F3 EM-EEF2.0-3C 保護管(MM1A)
--- 2F5 EM-EEF2.0-2C+3C 保護管(MM1B)



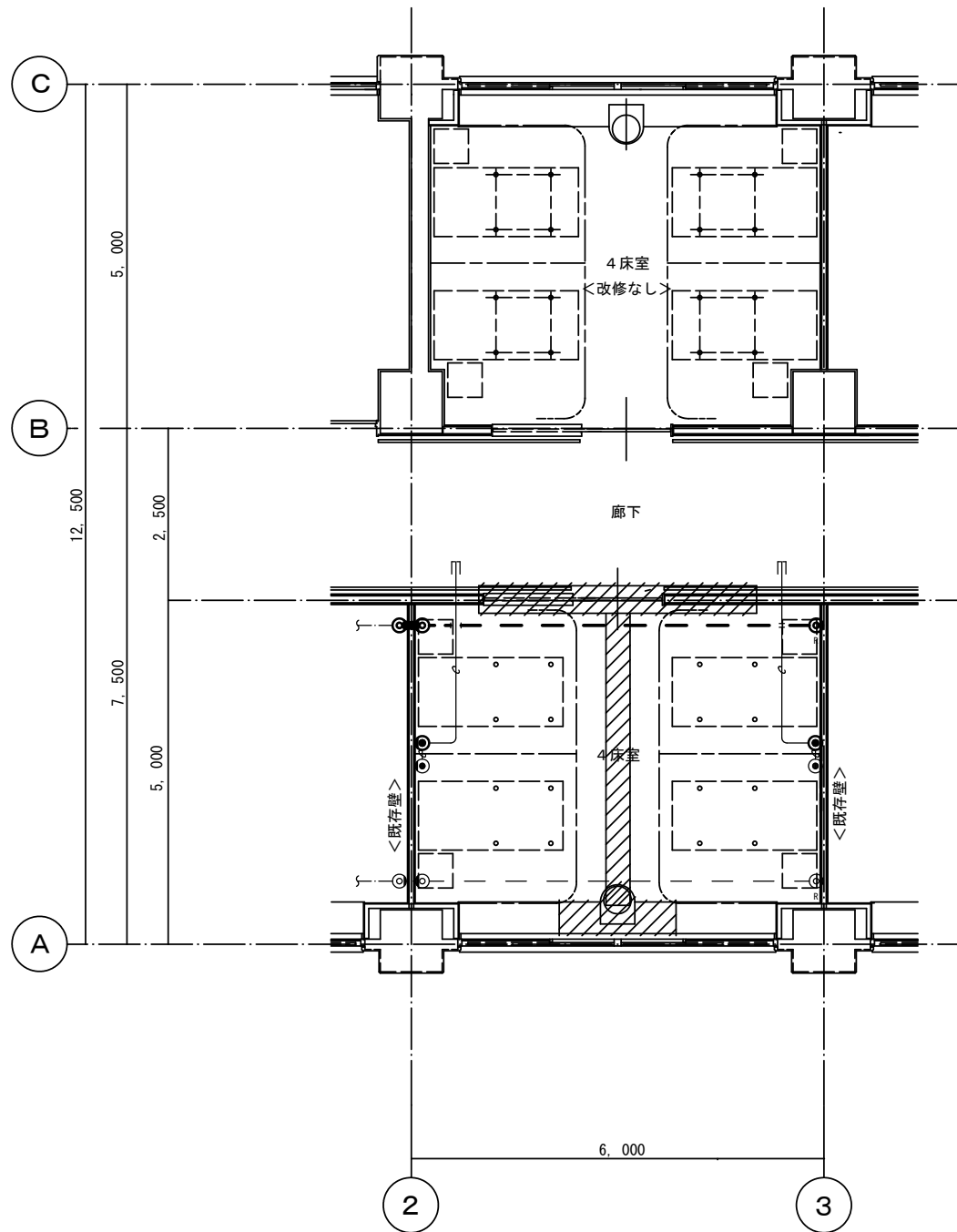
改修後平面詳細図 S= 1 / 50

凡 例

- テレビ 直列ユニット 中間
- R テレビ 直列ユニット 端末
- プランチャフ
- 隠ぺい配管配線
- - 床隠ぺい配管配線

注 記

- 図中の太線で示す機器類及び配管配線を全て撤去する。
ただし、コンクリート打込み配管は既設のままとする。
- 特記なき配管配線は下記による。
—— 50-FB (PF16)



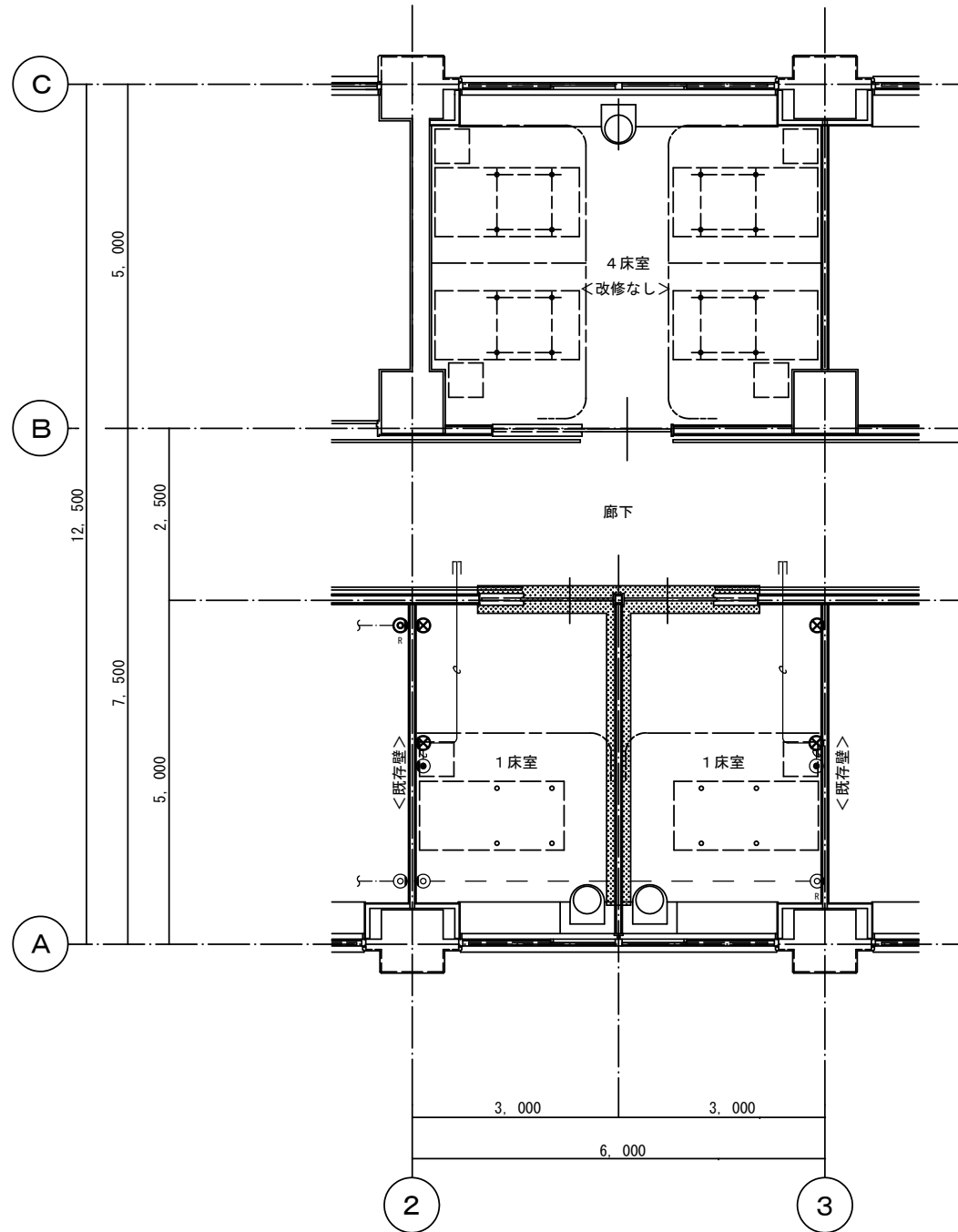
改修前平面詳細図 S= 1 / 50

凡 例

- テレビ 直列ユニット 中間
- R テレビ 直列ユニット 端末
- プランチャフ
- ⊗ プランチャフ レート

注 記

- 図中の太線で示す機器類を全て新設する。



改修後平面詳細図 S= 1 / 50

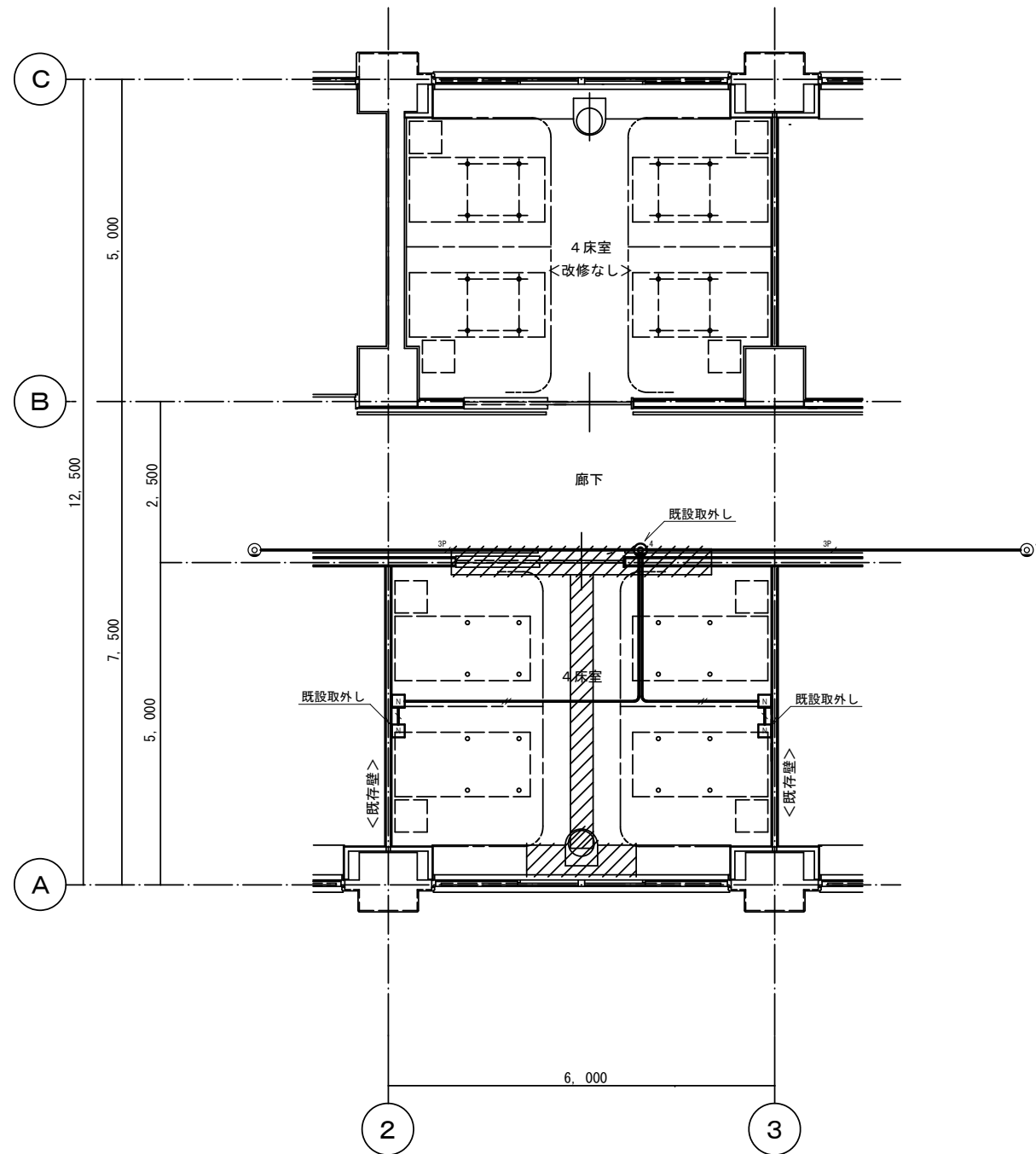
凡 例

- 集合廊下灯 個室用
- 集合廊下灯 4床用
- ナースコールコンセント+ハンド 形ナースコール子機
- 隠ぺい配管配線

注 記

- 図中の太線で示す機器類及び配管配線を全て撤去する。
ただし、コンクリート打込み配管は既設のままとする。
- 特記なき配管配線は下記による。

- AE0. 9-4C (PF16)
- AE0. 9-4C×2 (PF16)
- CPEV1. 2-3P (PF16)



改修前平面詳細図 S= 1 / 50

凡 例

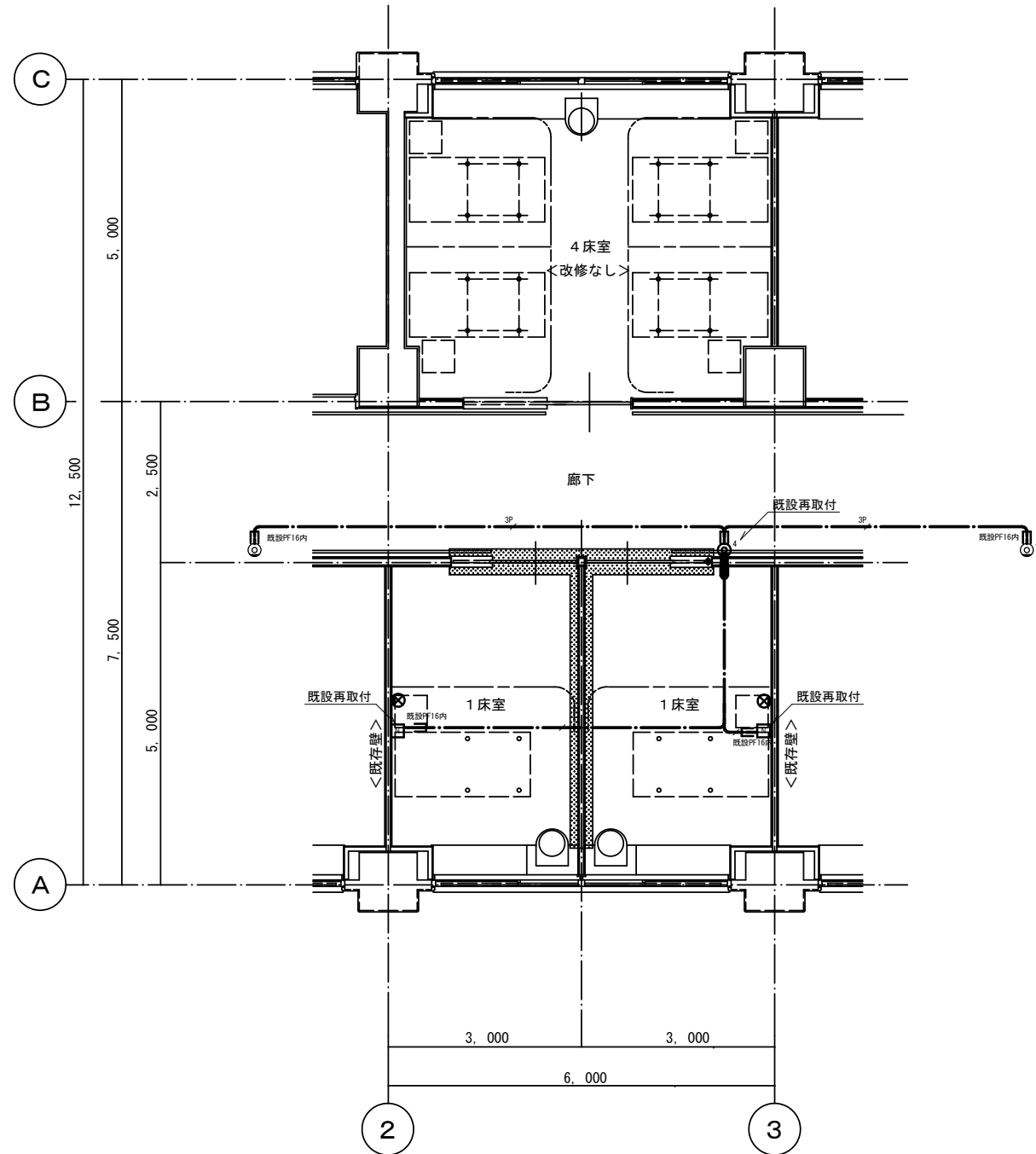
- 集合廊下灯 個室用
- 集合廊下灯 4床用
- ナースコールコンセント+ハンド 形ナースコール子機
- ブラケット トレート
- 天井内ケーブル配線
- 既設壁コバ抜きのため、防火区画貫通処理

注 記

- 図中の太線で示す機器類及び配管配線を全て新設する。
- 特記なき配管配線は下記による。
ケーブル配線における壁立上げ部分は配管保護すること。

- AE0. 9-4C 保護管 (MM1A)
- EM-CPEE1. 2-3P 保護管 (MM1A)

- ナーステーション内の既設ナースコール機及びナースコール運動PHSの表示変更を行うこと（既設アイホン製）。



改修後平面詳細図 S= 1 / 50

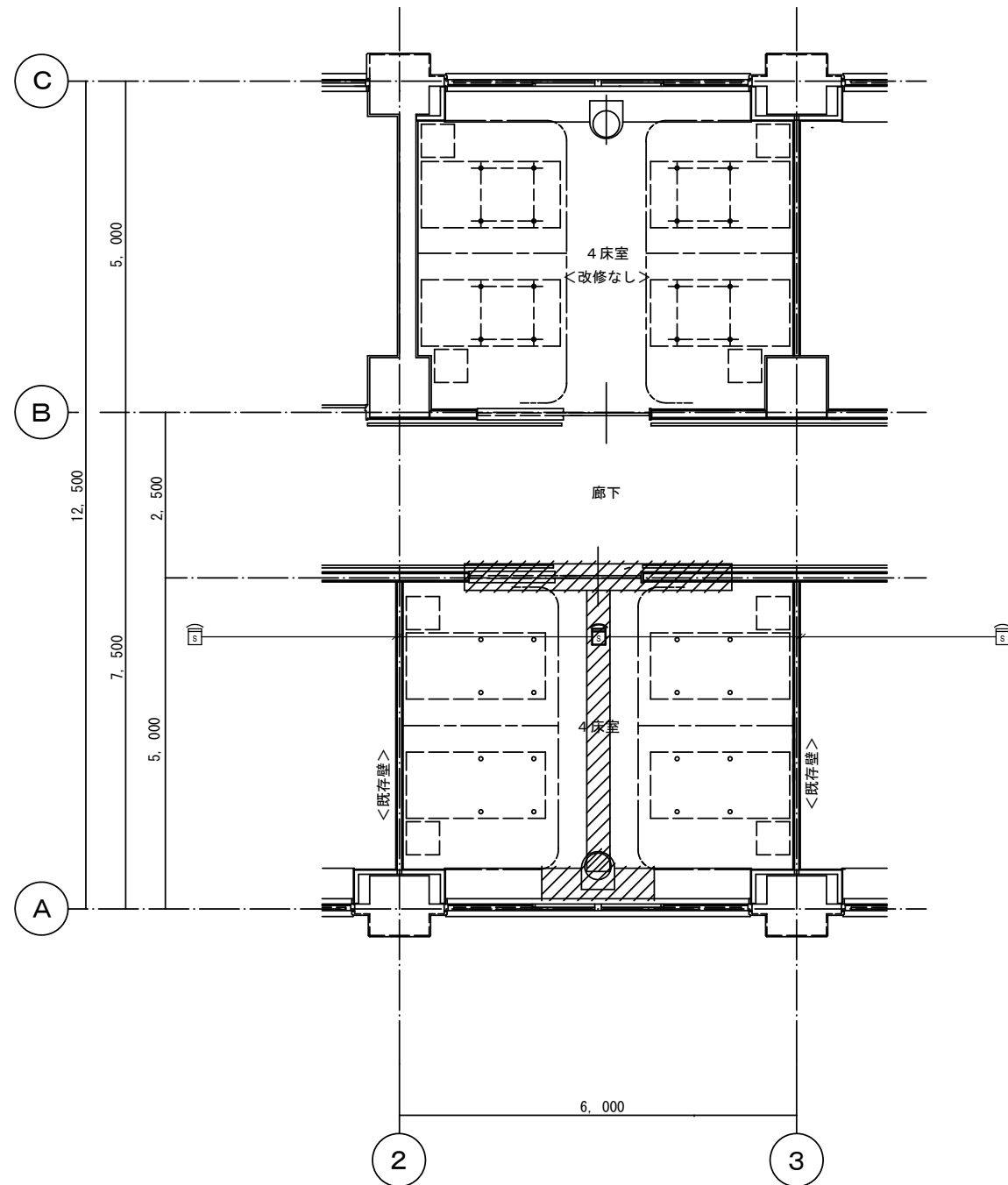
凡 例

光電式ｽﾏｰﾄ型感知器 2種, 埋込型, 非蓄積型
隠ぺい配管配線

注 記

- 図中の太線で示す機器類及び配管配線を全て撤去する。
ただし、ｺﾝｸﾘｰﾄ打込み配管は既設のままとする。
- 特記なき配管配線は下記による。

AE0. 9-2C (PF16)



改修前平面詳細図 S= 1 / 50

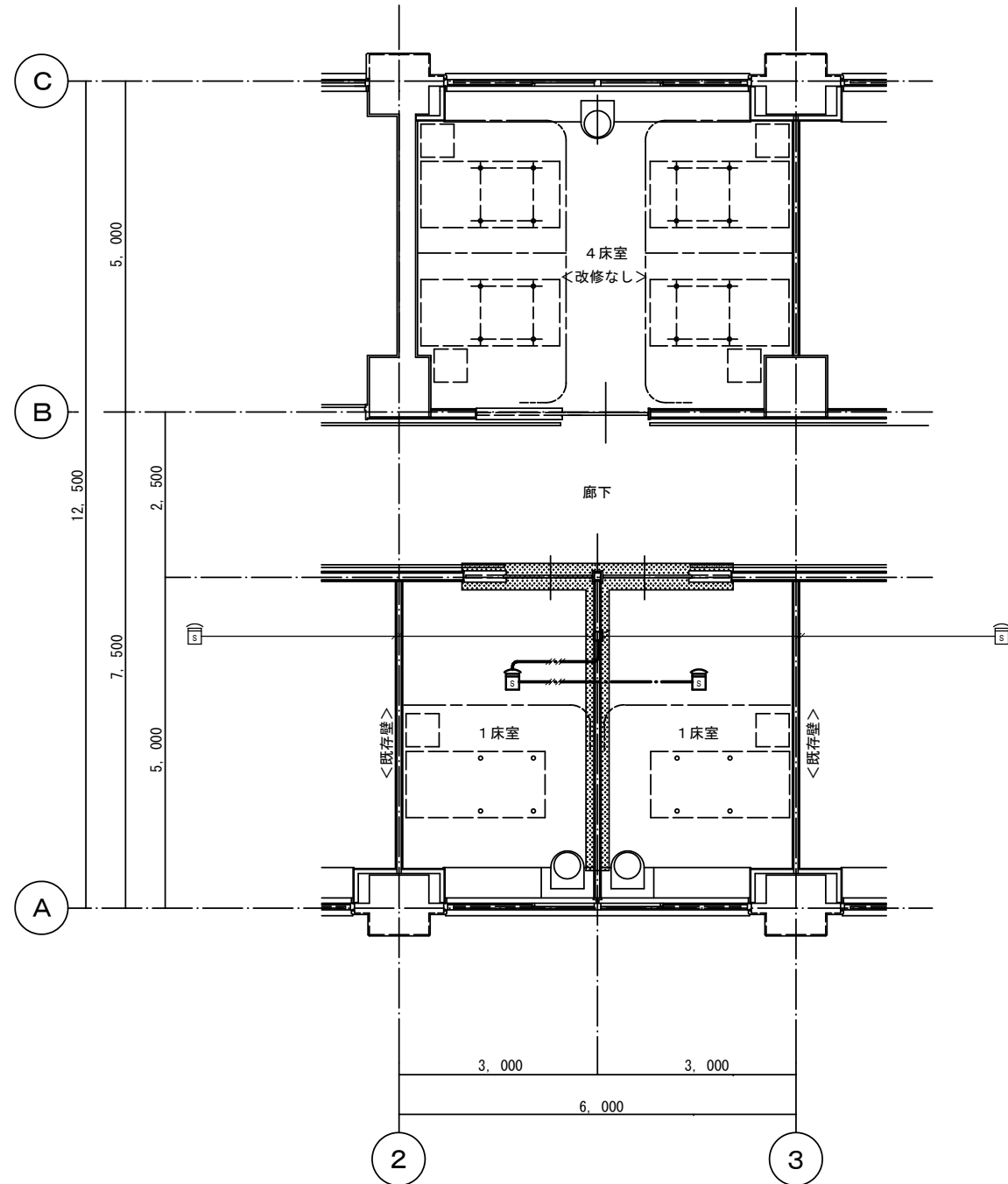
凡 例

光電式ｽﾏｰﾄ型感知器 2種, 埋込型, 非蓄積型
天井内ケーブル配線
隠ぺい配管配線

注 記

- 図中の太線で示す機器類及び配管配線を全て新設する。
- 特記なき配管配線は下記による。

ケーブル配線における壁立上げ部分は配管保護すること。
EM-AE0. 9-2C 保護管 (PF16)
EM-AE0. 9-4C 保護管 (PF16)



改修後平面詳細図 S= 1 / 50

機械設備工事特記仕様書

11 機器類の落下防止措置

12 パネル落下防止措置

13 既存ダクトの再利用

14 ダクト保温の範囲

吊り機器類の振れ止めは、「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による。
吊りボルトの規定長さが0.4m未満の場合は、設置状況に応じ適切な振れ止めを行うこと。
天井カセット型空調屋内機にはパネル落下防止措置を行う。
「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」によるパネル落下防止措置を行う。
改修標準仕様書第3編2.2.7「既設ダクトの再利用」による。
ダクト内清掃 ※ 行わない ・ 行う
外気取入ダクト（OA）：保温する
外気ダクト（EA）：外壁から1m保温する
給気ダクト（SA）：保温する
還気ダクト（RA）：保温しない
排煙ダクト（SM）：保温しない

排煙設備

1 ダクト

2 排煙口の形式

3 排煙口開放装置

4 排煙風量測定

※ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（板厚 ※ 1.6 mm ・ mm）
・ 天井取付 （ ・ スリット形 ・ パネル形 ）
・ 壁取付 （ ・ スリット形 ・ ）
・ 電気式（遠隔復帰 ・ 要 ・ 不要）
・ ワイヤー式
建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

衛生器具設備

1 掃除流し

2 洗浄水量

排水口形式 ※ 目皿 ・ 鎖付き共栓
改修工事における大便器の洗浄水量の調整調整を（※行う ・ 行わない）
大便器の洗浄水量の調整は次のとおりとする。
新設の場合：6.5リットル、既存利用の場合：便器の仕様に合わせて

屋内給水設備

1 配管材料

2 配管接合

屋内一般 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB）
・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PB）
地中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）
・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PD）
ねじ接合 ※ 100A 以下 ・ A 以下
フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上 （FVB、FVDとする）

屋外給水設備

1 上水道加入金

2 水量

3 水量器

4 配管材料

5 配管接合

6 緊急遮断弁装置

7 水圧試験

※ 不要 ・ 要（※ 別途 ・ 本工事）
※ 貸与品 ・ 本工事（水道事業者の認定品）
※ 水道事業者の規格 ・ 標準図 形
地中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）（40A 以下）
・ 水道用ポリエチレン二層管（40A 以下）
※ 水道配水用ポリエチレン管（50A 以上）
架空 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB）
・
ねじ接合 ※ 100A 以下 ・ A 以下
フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上 （FVB、FVDとする）
水道配水用ポリエチレン管は電気融着接合とする
駆動方式 ※ 電気式 ・ 機械式
水道配水用ポリエチレン管は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会が推奨する試験方法による。

屋内排水設備

1 配管材料

2 配管施工

3 試験

4 その他

雑排水 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
○ 硬質塩化ビニル管（VP）
・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
汚水 ○ 排水・通気用耐火二層管
・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
○ 硬質塩化ビニル管（VP）
○ 排水・通気用耐火二層管
・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 硬質塩化ビニル管（VP）
・ 排水・通気用耐火二層管
通気
(1)排水機主管に設ける90°曲管は原則として大曲管とする。
(2)排水縦管の下部曲がり管及び排水機枝管の水平曲がり管は大曲管とする。
排水の通水試験は、桝への放流を確認し、報告書を作成すること。
（空調ドレン排水を含む）
流しの床下部分の配管を硬質塩化ビニル管（VP）とする場合は監督職員と協議する。（フレキシブルジョイントによる接続は不可）
耐火二層管は国土交通大臣認定及び（一財）日本消防設備安全センター性能評定に基づき、伸縮継手を設置すること。
塩化ビニル管は塩化ビニル管・継手協会発行の <建物排水通気用 硬質塩化ビニル管・継手 技術資料（Q & A）>に記載されている設置基準に基づき、伸縮継手を設置すること。

屋外排水設備

1 放流納付金

2 配管材料

4 桝

5 桝の深さ

※ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事）
※ 硬質塩化ビニル管（VU）
・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）
マンホールは組立式とする。蓋には汚水、雨水等の文字を入れる。
蓋の鎖 鉄製蓋 ※ 要 ※ 不要
塩化ビニル製蓋 ・ 要 ※ 不要
※ 排水を接続する市町の指針、基準等の規定による。
・ 以下による。（排水を接続する市町の指針、基準等がない場合）
汚水桝 小口径桝（150mm（流入口径75mm以下に限る））：深さ1,000mm以下
小口径桝（200mm）：深さ1,500mm以下
小口径桝（300mm）：深さ2,500mm以下
雨水桝（A'スケツ付） 小口径桝（150mm）：深さ1,200mm以下
小口径桝（200mm）：深さ1,500mm以下
小口径桝（300mm）：深さ2,500mm以下

給湯設備

1 配管材料

2 配管保温外装

※ 一般配管用ステンレス鋼管
・ 鋼管（硬質M）
・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
・ 保温付被覆鋼管（保温14mm以上）
屋内露出 ※ 合成樹脂製カバー
屋外露出 ・ 合成樹脂製カバー
※ ステンレス鋼板

消火設備

1 配管材料

2 屋内消火栓箱

屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370 白管 sch40）
・
原則としてハウジング形継手は使用しない。
地中埋設 ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS）
・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS 白管 sch40）
・
※ 製造者標準仕様 ・ 標準図（P - ）による。

ガス設備

1 ガスの種類

2 配管材料

3 ガスメーター

4 ガス漏れ警報機

5 緊急遮断弁

6 その他

・ 都市ガス Kcal/nm3
・ 液化石油ガス 24,000Kcal/nm3
屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）
地中埋設 ※ ポリエチレン被覆鋼管（PLP・PLS）
・ ガス用ポリエチレン管（PE）
※ 貸与品 ・ 本工事
外部出力端子（※ 有 ・ 無）
・ 設ける ・ 設けない
ガスボンベ転倒防止の鎖は本工事とする。

浄化槽設備

1 処理方式

2 処理能力

3 本体構造

4 放流水質

5 配管材料

6 土留め工法

合併処理 ・ 建築基準法施行令第35条の認定品による
・ 建設省告示第1292号による。第（ ）（ ）方式）
処理対象人員 人
処理水量 m3/日
・ コンクリート製 ・ FRP製
BOD ppm 以下
・ 一般配管用ステンレス鋼管（ ）
・ 耐熱性硬質塩化ビニル管（ ）
・ 配管用炭素鋼鋼管（白）（ ）
・
・

さく井設備

1 種別

2 掘削方式

3 ケーシング

4 ストレナー

5 電気検層

6 水質検査

・ 浅井戸 ・ 深井戸
・ ロータリー式 ・ パカッション式 ・ ダウンザホールハンマ式
※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
・
※ ステンレス製巻線型 ・
※ 連続測定 ・ スポット測定
※ 行う（原水全項目） ・ 行わない

撤去工事

1 冷媒（フロン系）の回収

2 家庭用エアコンの処分

3 吸収冷凍機、吸収冷水機等の臭化リチウム水溶液等

4 石綿含有建材の除去工事

※ 無 ・ 有
（1）冷媒の回収にあたっては、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行うこと。
また、法に規定するものその他、次の書類を監督職員に提出すること。
（ア）第一種フロン類充填回収業者登録通知書の写し
（イ）フロン類の処理に関する証明書（充填証明書、引取証明書等）
（2）行程管理票の様式は、監督職員の指示による。
家庭用エアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、本工事では撤去までとし、処分等については、施設管理者へ引き渡しを行う。
※ 無 ・ 有
関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。
事前調査 ※ 行う ・ 行わない
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。
分析による石綿含有建材の調査 ※ 行わない ・ 行う（箇所）
測定箇所等は監督職員の指示による。
石綿粉じん濃度測定 ※ 行わない ・ 行う（箇所）
測定箇所等は監督職員の指示による。
石綿作業主任者
石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。
石綿含有品 ・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管 ・ ダクト）
・ 配管用成形保温材
・ 天井材
・ 外壁（ ・ 塗材 ・ スレート ・ ）
撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。
石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。

その他

1 ステンレス材を酸洗いたした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。
2 舗装板切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。

別表1

名 称
配管類
・ 給水管
・ 排水管
・ 冷温水管
・ 冷媒管
・
弁類
・ 仕切弁
・ バタフライ弁
・ 逆止弁
・ 緊急遮断弁
・
ポンプ類
・ 給水用ポンプ
・ 空調用ポンプ
・ 消火ポンプ
・
・
タンク類
・ 受水槽
・ 高架水槽
・ 貯湯槽
・ 膨張水槽
・
空気調和設備工用機材
・ バックジエアコン
・ 空気調和機（AHU）
・ 冷却塔
・ ヘッダー
・
自動制御機器類
・ 中央監視盤
・ リモート盤
・
・
・
給排水衛生設備工用機材
○ 衛生器具
・ 水栓
・ 組立てマンホール
・
・
浄化槽
・ FRP浄化槽
・ 動力盤、制御盤
・ プロワー
・
さく井
・ スクリーン
・
・
・
・
その他
・ スリーブ（つば付銅管）
・
・
・
○ 印の付いたものを適用する。

別表2

設備機器・配管の支持、固定は、以下の図書を適用する。
ガイドライン：静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（平成25年度）
センター指針：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）

施設分類	設備機器・配管等の支持、固定	左記のうち、横引き配管などの支持
防災上重要な機能が必要とする防災拠点等	ガイドライン*	ガイドライン*
防災上重要な施設	ガイドライン*	標準仕様書
一般の施設	標準仕様書	標準仕様書

* ガイドラインに記載のない内容は、センター指針及び標準仕様書を適用する。

設計番号

A250717

特記

令和

8

年度

工事名

藤枝市立総合病院4階個室化改修工事

図面名

機械設備工事特記仕様書（2）

設計年月日

令和8年7月

縮尺

S=NS（A1）,S=NS（A3）

承認担当

江間

西村

製図

小高



(株)大瀧建築事務所

一級建築事務所登録 静岡県知事登録 第3873号
静岡市駿河区馬淵4丁目1番7号 TEL (054) 286-4577(代) FAX (054) 283-2692

管理建築士

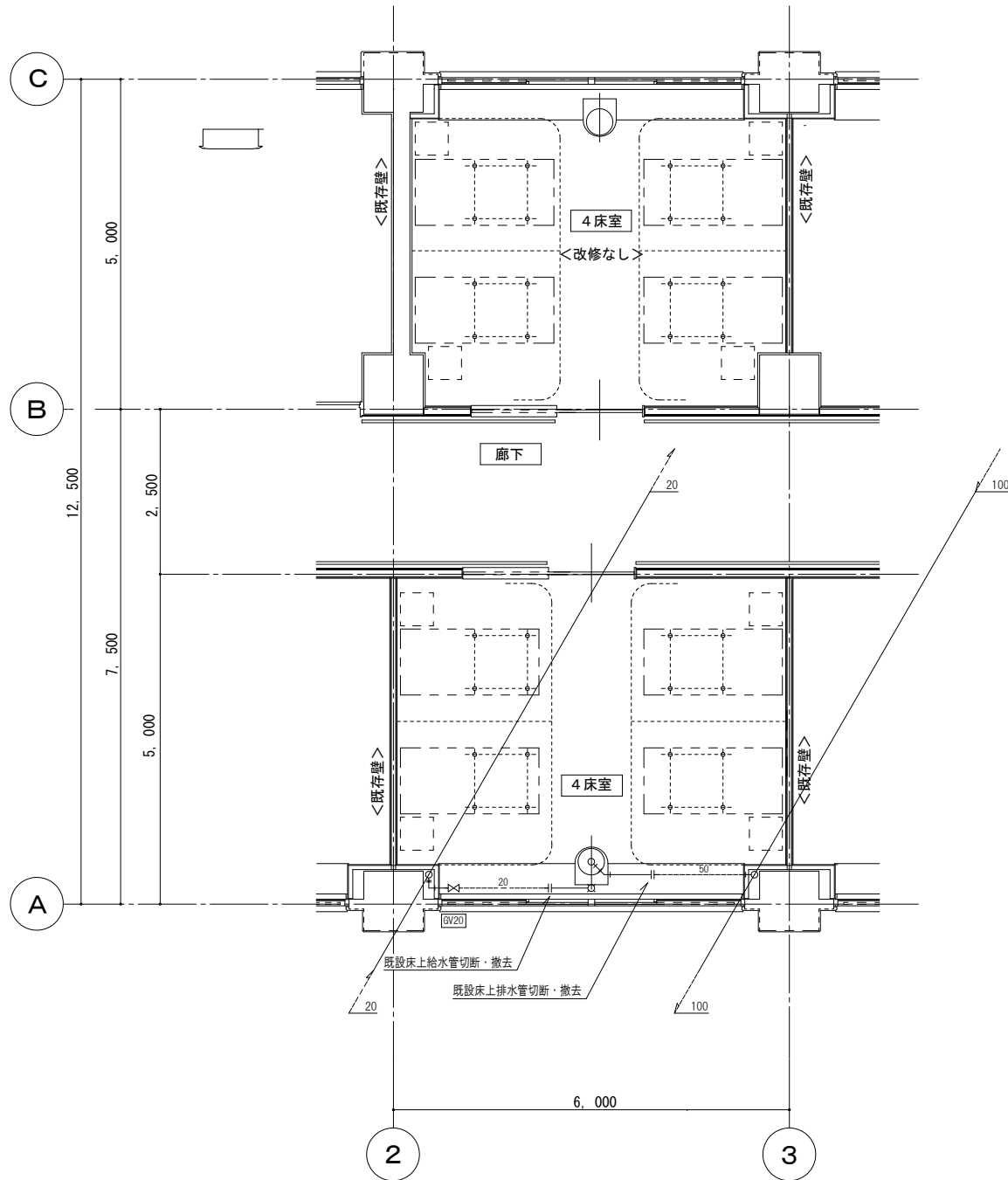
1級建築士登録第276882号
増田 洋一

図番番号

M-02

衛生器具表(撤去)

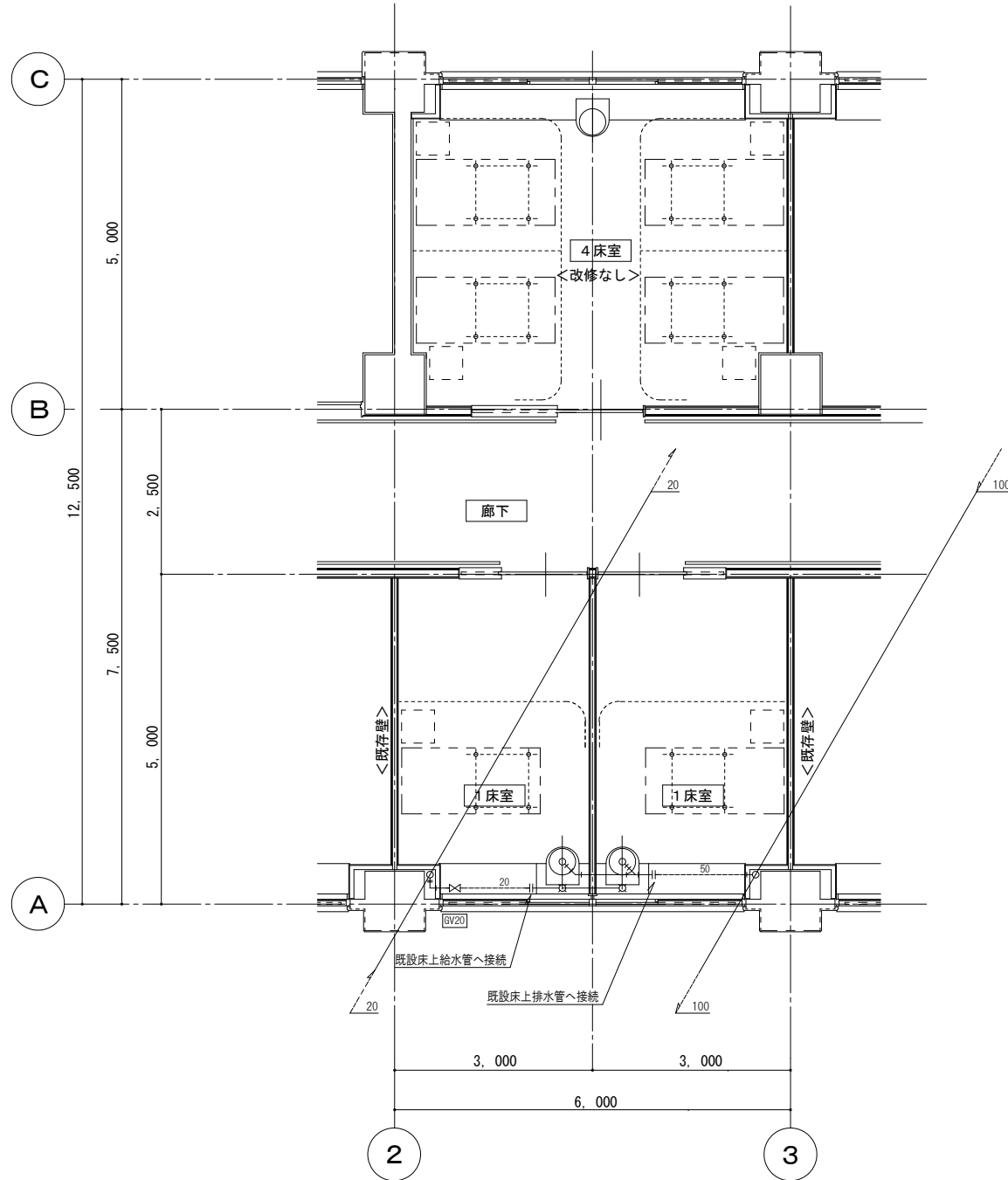
器具名	仕様	合計	4 A棟
			4 床室
洗面器	撤去	1	1



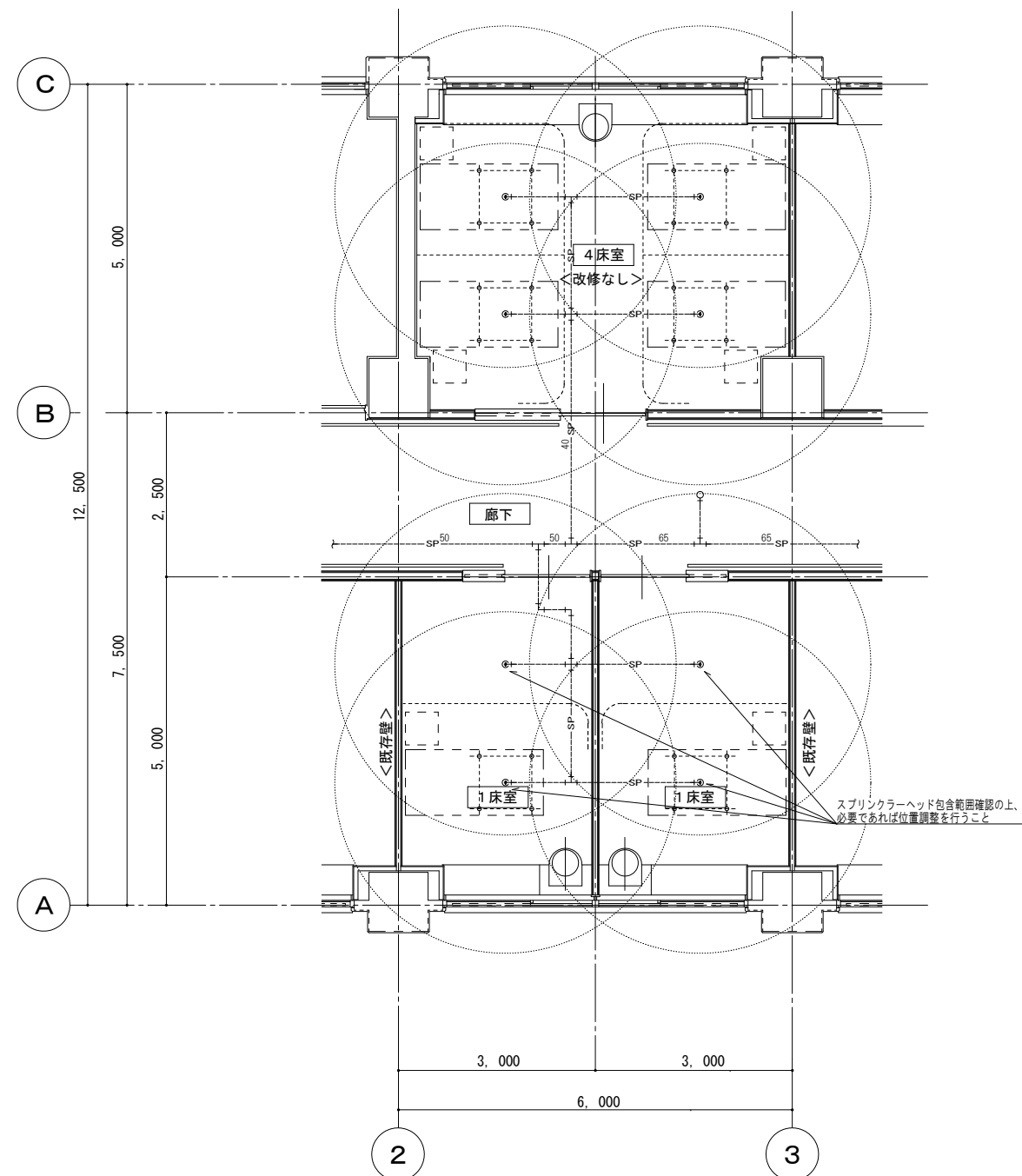
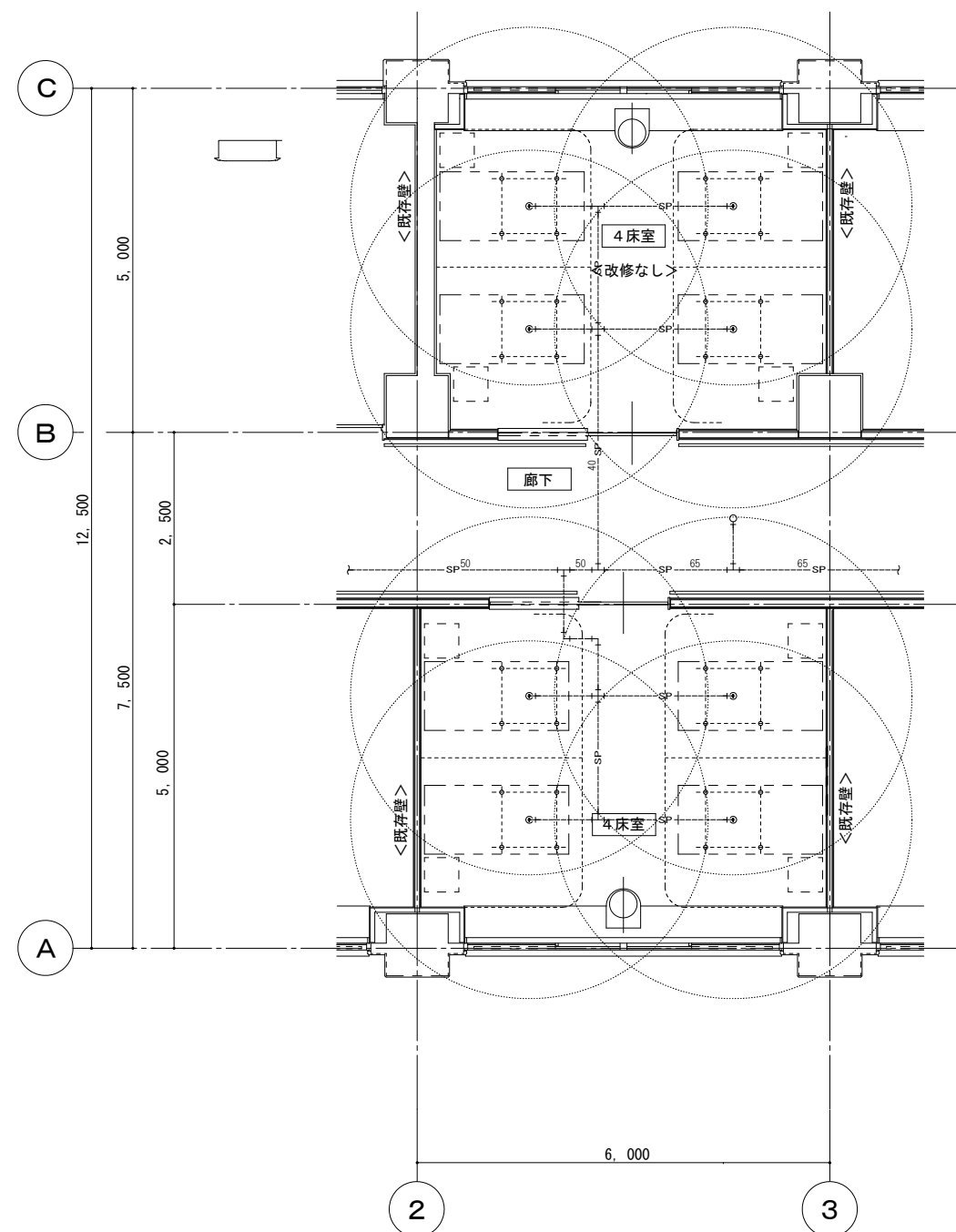
改修前平面詳細図 S= 1 / 50

衛生器具表(新設)

器具名	参考品番(TOTO)	参考品番(LIXIL)	合計	4 A棟
				1 床室
洗面器	LS351C, TLE28SS1A	L-2150ANC, AM-300CV1	2	2
同上カウンター	建築工事		(2)	(2)



改修後平面詳細図 S= 1 / 50



凡例	撤去ダクト
	既設ダクト(残置)
	を示す

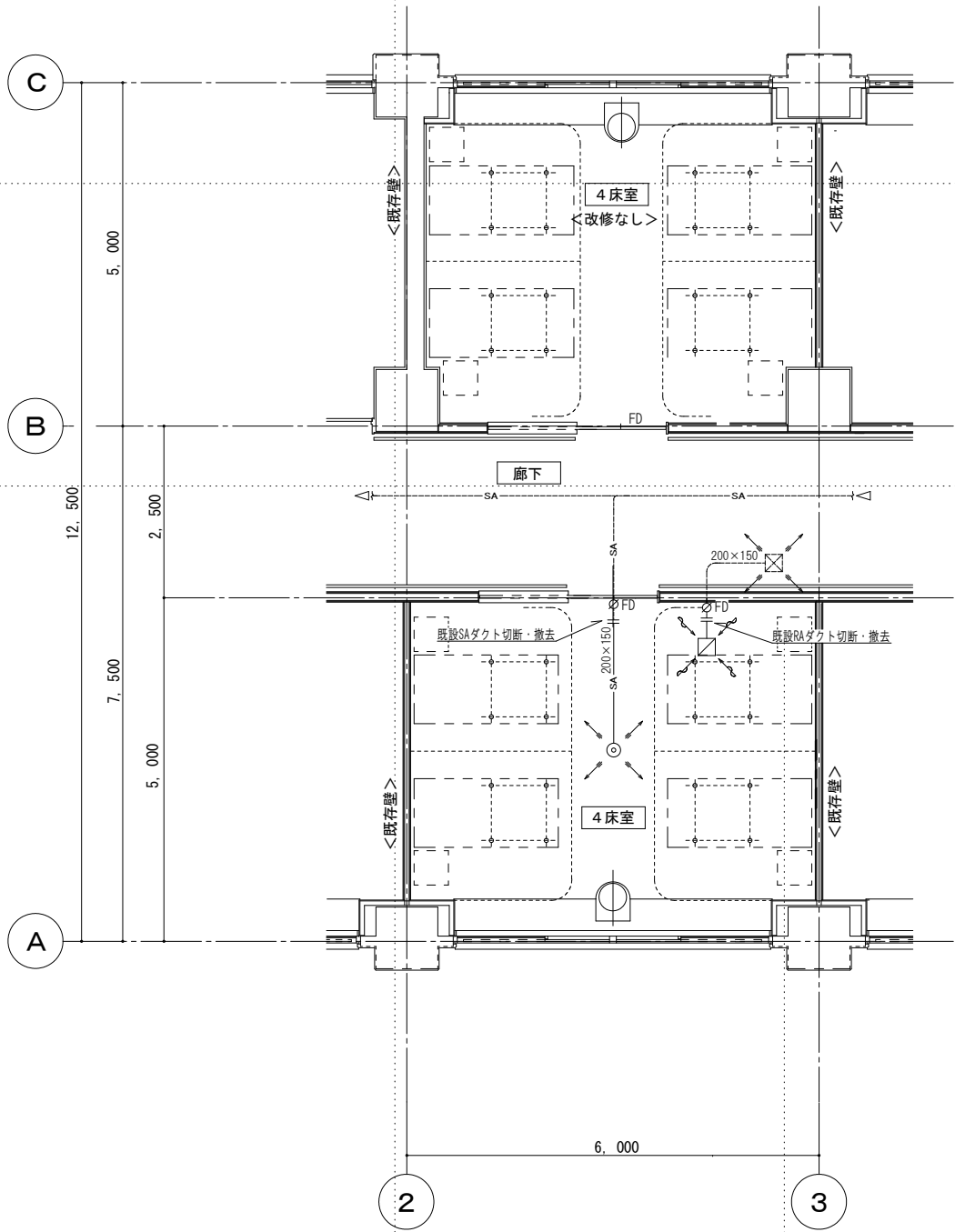
撤去	4床室
吹出口	C2-#15
Q=360?/h	1
BOX (GW25t内貼)	
400×400×400H	

撤去	4床室
吸込口	HS 350×300
Q=360?/h	1
BOX (GW25t内貼)	
500×500×500H	

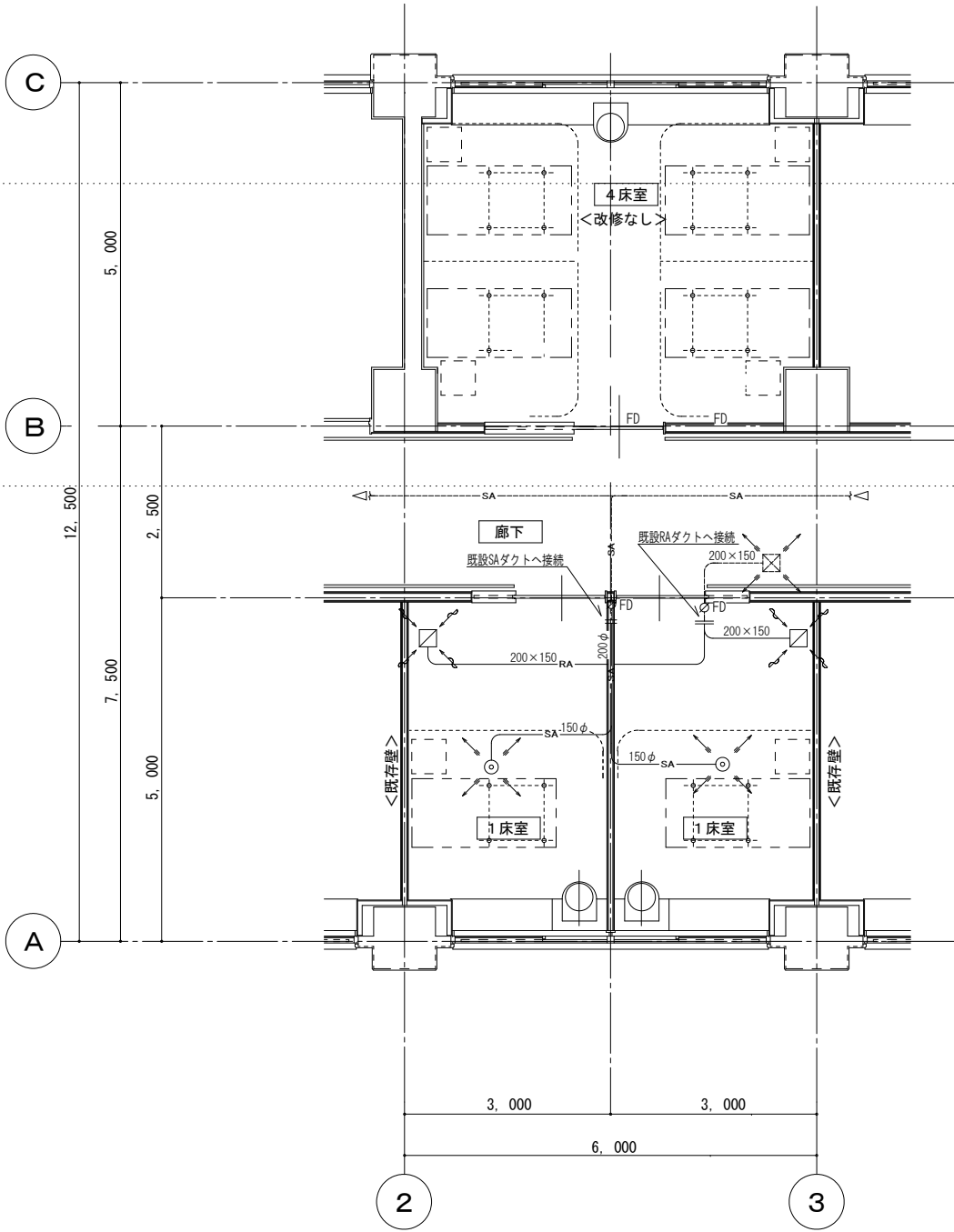
凡例	新設ダクト
	既設ダクト(再利用)
	を示す

1床室	
吹出口 (SA)	
C2-#15	2
Q=180?/h	
BOX (GW25t内貼)	
350×350×350H	

1床室	
吸込口 (PASS)	
HS 200×200	2
Q=180?/h	
BOX (GW25t内貼)	
350×350×350H	



改修前平面詳細図 S= 1 / 50



改修後平面詳細図 S= 1 / 50